臺灣日日新報（夕刊）
四月五日
夕刊定價一部貳錢

會議は長期停頓か　または一氣に決裂か

重苦しい空氣の中に散會した　第十一回停戰會議

【上海四日發電通】第十一回停戰會議は四日午後三時より英國總領事館で[illegible]六日まで休會して我代表は政府に請訓することとし午後六時二十分散會した、重光公使は「會議の前途は全く判らぬ」と沈痛な面持で語った

會議の內容左の如し

本日の本會議では英國側調停案を基礎として審議を進めたが、新調停案は項目の分類は[illegible]決定するに至らなかった三點[illegible]

第一、我軍の撤收區域の內容[illegible]
第二、[illegible]
第三、我軍租界內撤收時期

以上に就き逐次討議を進めたが問題の焦點となったのは我軍の租界撤收時期で、我方は最後の手段として日本軍は上海の秩序回復せば即時租界及びエキステンション地帶に撤收する旨の[illegible]ことを提議したが、支那側は之も肯かず、飽まで何時撤收すると時期を明示せよと迫りて議論は更に進展せず、本日の會議は既に日支雙方ともにあらん限りの討議を盡し、又中立國側の仲裁的討議も盡き、この上は兩國政府の訓令に依り日支兩國の最後的態度を決することとなり、更に本日の會議で日支雙方から主張された我方の[illegible]せよとの二案を最後的に政府に互に請訓し、その上で態度を決すると言ふ際どい土壇場まで話を進め、會議は最も重苦しい空氣の中に散會となった、若し[illegible]

多少接近　コンミユニケを發表

【上海四日發電通】停戰會議散會後左のコンミユニケが發表された
第十一回會議は午後三時から六時まで開かれ、日本軍の撤收時期の問題に付き意見の交換をなし多少の接近を見た、會議は來る七日午前十時から開くこととなった

小委員會でも討議

【上海四日發電通】停戰會議小委員會は午後六時四十分散會左のコンミユニケを發表した
小委員會は午後三時より開會、日本軍の撤收及び撤收地域の適否に付き各種の案に付き討議が行はれ、各國で請訓を要する點に達し為め六日午後三時まで休會することとなった

郭泰祺　辭表を提出　會議決裂の責任遁れの爲めか

【上海四日發電通】汪兆銘は四日午前汪[illegible]南京に歸つたが、之よりさき郭泰祺は汪に辭表を提出した[illegible]會議決裂の際の責任を免れんとするものと見られる

支那側が次の會議で譲歩せねば會議は長期停頓となるか又一氣に決裂となるであらうと見られてゐる（聯合上海電報に重要意見一致を見たとあつたのは是れの誤電）

重光公使とランプソン公使

たとひ決裂しても　讓步の餘地なし

我が委員政府に請訓

【上海四日發電通】會議散會後重光公使、植田中將、田代少將、[illegible]參謀中佐等日本側委員は政府の回訓[illegible]その他に付き重要條件を述べたが我方としては之以上讓步の餘地全くなく、更へ決裂となるともやむを得ないと言ふに意見一致を見、之に對し政府の回訓を待つ事となった

積極的戰備を整へるに決す

日本に對して最後の決意　國府の緊急會議で

【南京四日發電通】蔣介石及び汪兆銘以下要人は午後三時から五時まで緊急會議を開き、對日問題を協議した結果、日本に對し最後の決意を固め積極的戰備を整へるに決した、會議には于右任、李烈鈞、[illegible]等出席し、對日軍事には蔣介石が主となりて[illegible]その大部分は十九路軍の勢力下にあり、軍[illegible]石の軍隊に對し極度に[illegible]蔣の決意固きものあり、今後の十九路軍對蔣介石軍の軋轢は注目されてゐる

對日方針は共同動作に一致

南京、廣東兩派が妥協

【上海四日發電通】四日汪兆銘、孫科との會見の結果、南京、廣東兩派の妥協成り、對日方針は共同動作に一致した模樣である

政府と黨部の要人洛陽へ

【南京四日發電通】蔣介石及び二三の軍事相當幹部を除く外、汪兆銘以下南京政府と中央黨部の全要人は今夜南京發津浦線を經て洛陽へ向つた、之は洛陽の國難會議に出席の爲めである

十九路軍の反蔣熱　行動注目さる

【上海四日發電通】信ずべき方面の調査に依れば上海附近にある支那軍[illegible]

抗日を繼續　最後の一兵迄　張、李の豪語

【上海四日發電通】張發奎は「我軍は陝西經由前線に馳せ參ずるに決定した、余等は滿洲國の爲め死花を咲かす決心を固めた」と豪語し又李濟深は「日本軍は一週間以內に撤兵すべし、然らずんば余等は最後の一兵迄日本に對し抵抗を繼續するに決した」と穩かならぬ文句を述べてゐた

滿洲國の開發に　住友安田も乘出さん

經濟聯盟も近く　何等かの意思表示

【東京五日發電通】滿洲國の開發問題は三井、三菱兩財閥の融通を見ることに決定してゐるが、兩財閥では具體的手段の完了次第、差當り五、六百萬圓を經濟聯盟を通じて

融通し　次いで漸次滿洲國開發の必要に應じて二千萬圓を融資することに決定した、而して兩財閥では右の態度に止まらず、今後滿洲國開發資金の必要があれば五千萬圓位は進んで融資する意向であると云ふ、兩財閥が滿洲開發に先鞭を附けたことは財界各方面に異常なる刺戟を與へ、經濟聯盟も愈々援助に乘出すこととなつてゐるので、近く何等かの形で意思表示を見るべく、之をきつかけに住友安田等も融資を申出るであらうから、開發資金一億圓を得るのは容易なこと、見られるに至つた

海關代表を新京に召集

關稅自主聲明は十日ごろと見らる

【新京四日發電通】財政部は三日午後一時營口、安東、ハルビン、龍井村、琿春等の海關代表を召集し滿洲國の關稅自主聲明後に於ける徵稅方法等に付き最後の協議を行つたが、滿洲國の關稅行政獨立に關しては外國の債務負擔の分を合法的方法に依り確認した[illegible]

御免蒙る　民國の祝祭は

滿洲國では淸明節も取止め

【奉天四日發電通】滿洲新國家は中華民國と一切の關係を斷つたので民國の祝祭は之れを行はず、民國の五大節の一たる五日の淸明節も之を行はず官廳も一般も休業せぬと

分は新國家の收入となし、爾幸の他の處分方法は[illegible]

臺灣關係の勅令改正　閣議で決定

【東京五日發電通】本日の閣議に於て左の件を決定した
一、大正十年勅令第八十九號（朝鮮、臺灣に於ける官公立學校敎官にして一ケ年以後に限する[illegible]）の給與に關する件中改正の件

滿洲攪亂企圖の主な匪賊團

掃蕩に寧日もなき新政府軍と日本軍

【東京五日發電本社特電】滿洲國の大局が漸く定まるに連れて國內の治安攪亂も安定するであらうが、日下滿洲に多數の匪賊が蠢動してゐるのみならず、滿洲國の治安勢力は相當強いものであり、新政府軍は勿論我日本軍もその討伐に寧日なき有樣である、而して張學良は今尙東北に未練を有してゐるが、新國家の建設に反對して全滿を攪亂に陷らしめ、一般民衆の新政府を離反せしめ、且つ排日の氣勢を煽り立て、やうと企圖してゐる、之又張の諸將領が其の責任を問ふので失地回復を絕叫して身の安全を圖るの手段として

東北へ　の侵攻を試みてゐるのである、而諸將領を綜合すると日下滿洲攪亂を企圖しつつある主な匪賊は左の通りである

◇東北民衆抗日救國軍、[illegible]万り策動中で、錦州以南に於て[illegible]

◇東北民衆抗日救國軍、山海關附近河北省境に[illegible]の諸準備をなしつつあるもの如くである

◇東北國民救國軍、吉林の政治問題者を始め南滿州[illegible]でも[illegible]な除く、張學良は大いにカを入れ、多數の資金を武器等を供給する情報がある、三月六日頃より屢次蠢動を企圖したが既に[illegible]

◇錦州義勇軍、通遼附近に蟠踞しているが[illegible]されたのは損害である

◇大刀會、[illegible]

◇紅槍會、[illegible]り會員は青少年が大部分を占めてゐる

以上は　張學良が自己の軍隊で組織した馬賊の主なるものである（四日陸軍省發表）

本島の外米輸入　約廿五萬石

督府から拓務省へ打電

本年度臺灣に於ける米不足によるる本島への外米輸入は督府見積二十五萬石にして三日拓務省にて承認された、即ち新規に二十五萬石の外米が輸入されることとなるのである

陸軍異動中　主なる轉補　十日に發令

【東京五日發電通】來る十日發令さるべき陸軍大異動中主なる轉補左の如し

關東軍參謀長　少將　三宅光治
任中將參謀本部附兼待付
參謀本部第四部長　少將　[illegible]
補陸軍技術本部附
造兵廠大阪工廠長　少將　三木[illegible]
補兵器本廠長
兵器本廠附本省軍事調査委員長　少將　西尾壽造
補參謀本部第四部長
參謀本部第三部長　少將　沖直道
補陸軍運輸部付（廣島）
參謀本部第二部長　少將　橋本虎之助
補關東軍參謀長
造兵廠火工廠長　少將　長谷川[illegible]
補造兵廠大阪工廠長

陸軍大學校長　少將　今井清
補陸軍大學校長
航空本部總務部長　少將　[illegible]
補參謀本部技術部長
步兵大佐　永山[illegible]
任少將補參謀本部第二部長
參謀本部第二課長　步兵大佐　小畑敏四郎
任少將補參謀本部第三部長
上海派遣軍參謀副長　步兵大佐　岡村寧次
任少將兵器本廠附（不在軍事調查委員長兼務）
技術本部部員　砲兵大佐工學博士　多田禮吉
任少將補兵器研究所第一部長
航空本部員　航空兵大佐　伊藤周次郎
任少將補航空本部補給部長
關東軍醫部長　軍醫監　小山善住
補近衞師團軍醫部長
軍醫監　弘岡道明
補朝鮮軍軍醫部長
軍醫學校長　軍醫監　小泉親彥
補第七師團軍醫部長
一等軍醫正　出井[illegible]
補朝鮮軍第二十師團軍醫部長
第一師團經理部長　主計監　千葉[illegible]
補朝鮮軍經理部長
經理局監査課長　一等主計正　石川半三郎
補第一師團經理部長

ユーゴスラビア內閣總辭職

【ベルグラード四日發電通】ユーゴースラビア內閣は四日總辭職した

人事

▲金行二郎氏（新高製糖常務取締役）四日來北（官邸）
▲[illegible]六郎氏（新高製糖[illegible]長）四日來北（官邸）
▲赤司初太郎氏　一昨延期六日來臺の筈

その日その日

○一世を震駭させた山梨大將事件の判決も一審通り無罪となる定石通りだ
○牙歯くも陸軍大將、元の朝鮮總督、アレ程の醜態を曝した丈けで名譽上傷ひはしてゐる
○不正事にも觸く正義が貧をあげて來た、國民家の一塊が抗辯に終する事態がしうだ、時勢なる哉
○軍閥が人民を搾取し勢力を伸ばかりしてゐる現狀に飽ら支那國民だとて我慢できる譯がない
○何と云つても少しづつは淸算されてゆく、好い傾向だ
○米國務長官スチムソン氏がゼネバへ乘り出すといふ、滿洲の地位を聞入りをする譯では決してない
○馬占山が[illegible]起してゐる、失地回復の失地とは北平や天津の事だらう、山師にはふさはしい

○丁超一味は、とことん追やられぬと悟りがつかぬらしい、さるにても無駄な生命の浪費
○漁利を貪らんが爲めに蓬萊米の狂的買占め、その結果は內地から本島へ逆に米の流入
○この無理の償ひは何も「人抵」や「破産」となつて淸算されるのだが、聊かあくどい遣繰
○鰹節お株元から逆襲をやる、色々な事が眼につき耳に入らうが、萬事問題にはお早い[illegible]

無絃琴

◇この間の總選擧に於ける新聞社關係の當選者は百餘名に達してゐるがその中には所謂政黨的新聞記者と稱すべき人物も入つてゐる、また現役新聞社長だけでも四十名くらゐある、勝敗が決つてみると、中野正剛君の九州日報社長、山崎猛之輔君の福日社長、東京君の北海タイムス社長、西岡竹次郎君の長崎民友社長、野田[illegible]の他地方新聞社長小谷節夫、大分日日の野依秀市、ハルビン日日社長の兒玉右二、北陸[illegible]日社長の永井柳太郎、二六新聞社長の矢野晋也、長崎新聞社長の山本寬平等の諸君が當選してゐる中には伊豆富人君が熊本の二區から朝日を退社してみた、官長[illegible]新聞出身者が案外多い事も[illegible]閣係の新聞出身者も當選[illegible]長、▲北海道長官から新聞社長に早變りした田中[illegible]で世間を驚かせた池田秀雄君も[illegible]選後間もなく政變のため新聞社の方はやめたが其の代り佐賀縣から出馬して美事に當選した、また世間に知られぬ新聞の記者出身者では代議士に當選したのも數人ある▲記者から代議士に[illegible]

遺

——たとへ、冗談にしたところで、今日は何といふ日だらう？とかれは考へた。さつき、小澤の細君にはあんな事を言はれたし、今また綾子から同じやうな事を……外國に居る女つてものは、誰でも、國に歸る人があると、それに付いて行きたいやうな氣持になるものだらうか？……

綾子がつづけてゐる笑顔には、小澤夫人があの時見せたやうなヒステリックな表情はすこしも無かつたが、されば言つて「御一緒につてやれ」といふやうな意地わるさが認められるのでもなかつた。かれが默つてゐると、かの女も默つてゐた。

急に、部屋のドアを輕く叩く者があつた。私は起つて行つてドアを開けた。オルタンスだつた。

「マダムが今朝、息子夫婦の滯在してゐる田舍へ出掛ける時、これをあなたにあげてくれと言つて置いて行きました。」

さう言つて、そのちびの女中は一通の手紙をかれに渡して出つた。

かれがその手紙の封を切りながら引返して來た時にはコーヒー茶碗は空になり、綾子はもう外套を脫いで、暖爐の火を消したり、コーヒーの加減を見たりしてゐた。

「ふふむ……」

かれはその間に、女主人の手紙を讀み終つた。「あなたが御歸國になるのをお見送りしてから私は田舍に參ります。私は大變殘念でしたが、作夫婦が來てあるので、今日わたしは田舍に行かねばなりません。どうぞ宅は御自由にお使ひ下さい。この年寄りを思ひ出したら時々お手紙を下さい。永いおなじみ故、最後にあなたがわたしの家の閾を跨いでお出になるお姿を見るのがつらいやうな氣持もあつて、わたしは我から家を出てゆくのです」といふやうにも書いてあつた。その文句には、かれは全く腕を打たれた。滯日と言はれた。「お部屋代其他の御精算は下婢に言ひ置きました。あれがすべて心得てゐますから御出發下さい。」とあつたのには、もう七十といふ年齡とは思はれないかの女の、しつかりした點がよく出てゐた。それには別の意味で、かれは感心した。

主客顚倒の形で、綾子がかれに給仕してくれた、熱いコーヒー茶碗を取揚げながら、秋山は年寄りの手紙をかの女に見せた。

火の鳥

中村星湖作
吉本雅生畫

(59)

シベリヤ越えて（五）

綾子の冗談でもなささうなその様に、秋山はひどく驚いた。かれは言ふ言葉がかけたコーヒー茶碗を隠して、かの女の顏の前に差出して行つて掛けた。

「へえ、あなたが日本へお歸りになる、何時？」

「出來るなら、あなたに、一緒に連れて行つて貰ひたいのよ。」

さう言つて、女はチラと白い齒を見せて笑つた。

「御冗談でせう？──もちろん……」

「冗談のやうな本當よ。」

「あの女の子、ここの娘？」

「いいえ、女中ですよ。」

「小さい時に、わたしがここへ寄つた時にね、この娘、わたしに名をませてゐるの。いやあな目付をしてわたしを見たわ、今夜もさうだわ。今だつて、そんな手紙をわざ〳〵持つて來なくてもよささうなのに、きつとわたしたちのことを疑いてるのよ。あなた、あの子をどうかしてやしない？」

「まさか！あんな女中なんぞを！」

「だつて、ちよつと可愛いいぢやあ

特約店大募集
最優秀品　孔雀印……調味の素
普通品　地球印……調味の素
調味の素本舖
大阪天満堀川
勢山商店

技巧の精より品質の優秀と
ヒヨリ信用を得て居ります
實務算盤　萬古算盤　ヤマト號算盤　富士號算盤　數島算盤　アサヒ算盤　バネ上大算盤　象印算盤　銀行算盤　象牙ブラ算盤
大阪市南区八幡町二丁目
和田算盤店製造所

袋物製造卸問屋
錢入、シース、札入
現金正札
大阪市東區博勞町二丁目
福本又兵衛商店

西洋蠟燭製造に關する一切の御相談に應ず
大阪市東區南久寶寺町
萬代商店

商賣を始める人・始めんとする人々の好參考書
名古屋通信販賣協會

ゴム玩具
最新式、賣れ行き飛ぶが如し
ゴム玩具
タイヤー
卸値段表進呈
御仕入は製造專門の弊店へ
カタログ進呈
名古屋市東區千種町
金城ゴム商會

商店
實際的で役に立つ
東京、大阪、名古屋[illegible]

ヒリツピンの獨立案 アメリカ下院を通過

二百六對四十七の多數で

【ワシントン四日發聯合】米國下院は四日二百六對四十七の壓倒的多數をもつてヒリツピン獨立案を通過した同案はサウス・カルライナ州の民主黨議員ハトラー氏の提出にかかり今後八ケ年を期しヒリツピンの憲法制定後これに獨立を許す案である

【ワシントン四日發電通】比島獨立案はヒリツピン獨立政府を組織してより八年後に獨立を承認するもので其の間ヒリツピンよりアメリカへの輸入品は自由貿易を脱し漸次輸入税を遞增しアメリカへの移民は一年五十名を限り獨立後は他國と同様の輸入税を課し移民法を適用するものである

ス長官は反對

【ワシントン四日發聯合】本日米下院の比島獨立案に就き民主黨より賛成を得んとしたが、陸軍長官スチムソン氏の上院領土委員會長ビンガム氏に與へた書翰を公表、國外から反對したため遂に約三分の一の反對投票が行はれた、而してスチムソン氏の書翰は米國の極東政策を擁護し飽迄比島獨立に反對したものである

上院も通過せん

但しフ大統領は否認すると見らる

【ワシントン四日發電通】ミズーリ州選出上院議員ハリー・ホーワ氏は上院議員ヘーヤ氏提出のヒリツピン獨立案に關し語る 「ヘーヤ案は勿論壓倒的多數をもつて上院を通過するであらうが上院としては上院獨自のヒリツピン獨立案を可決するかも知れぬ、最も恐くヒリツピン獨立運動が擡頭して來たのは主として經濟上の理由からでアメリカ本國はヒリツピンの農産物に依つて多大の脅威を受けて來たので之が對策を講ずるためである」(同案は議會を通過してもフーヴァー大統領は之を否認するものと見られてゐる)

總督の市内巡視 けふで終る

南總督の臺北市内官衙巡視の第二日たる五日は前日同様午前九時から行はれたが、爽快なる日和で巡視には持つて來いの天候であつた中瀬臺北州知事、池田秘書官、小川警察課長隨行、九時十分先づ臺北帝大に到り、前の如き順序の

流石元の文部次官 帝大で急所に觸る

〔引見あつて後〕、幣原總長、村上文政、大島理農學部長から交々學内の狀態につき説明して各教室を巡覽したが、同學にかて總督は文政學部の文科と政治科とを一緒にしたのはうまく行つてゐるのであらうかと急所にふれて元の文部次官振りを發揮してゐた、次で高校、第二師範、第一師範は型の如く台北、根津、澤武の各校長から校内の概況を報告し、臺北醫院に到り倉岡院長等の出迎へを受けて同院長の説明を聴きたる後、院内を一巡して午前中の部を終り十一時三十五分官邸に歸り、晝食の後午後零時半より中研、商專、臺專を巡視して午後二時五分歸邸、之で總督の市内巡視全部を終つた

澄宮殿下學習院を御卒業

目白の學習院では三月三十日午前九時半から御卒業の梨本大將宮殿下台臨の下に第四十二回卒業式を擧行四月一日から同校高等科へ御入學遊ばされる澄宮殿下には中等科四年を御優等の御成績でめでたく御修了遊ばされた(寫眞は右から澄宮殿下、東久邇宮盛厚王殿下、東久邇宮彰常王殿下、賀陽宮邦壽王殿下)

左翼化した六名を檢擧

今曉四時ころから 新竹署大活動開始

【新竹電話】新竹警察署にては五日午前四時頃から署員を召集し市内各方面に亙り家宅搜査を行つた結果第一公學校の青年訓導、東門通り某器商主、内地留學中臺南醫學した青年二人、内地人開業等六名を引致し、秘密裡に取調べ中であるが思想の急進なる勞働者等左翼化したものらしく、左翼文學研究を目論んでゐたものと云はれてゐるが、また表面に現はれたものではないらしい

が、九大なども最初はこの二つをうまく調和さして行くつもりで文政學部と言ふものを作つたが今日では最初の期待通り行つてゐない、こちらはどんなものであらうか

經濟聯盟の構成を望む

マツク首相談

【ロンドン四日發電通】英首相マクドナルド氏は會議後語る 英佛兩國首相の意見一致で種々の方策を採用したことは欣快である、將來も此の種會議で歐洲諸問題の研究を爲すに意見の一致を見た、六日以後の四國會議で協定に達しダニューブ河沿岸諸國がなるべく速かに經濟聯盟を構成し得るに至らんことを希望する、若し不成功とならば竟其の結果を招くに至るかも知れない

ランダン氏及びフランス經濟專門家ビグ・クーロンジル氏等とイギリス側のチェンバーレン藏相、ランシマン商相、外務次官ガアンシタート氏、經濟專門家レイスロス氏その他數氏を交へ英佛の重要商議を開始した

英首相官邸で重要商議

歐洲經濟問題に關する

【ロンドン四日發電通】歐洲經濟問題その他に付きイギリス政府と重要協議を遂げるため三日著英したフランス首相タルデユ氏は四日午前九時半イギリス外務省を訪ひサイモン外相と約三十分間に亙り商議した後、打揃つてダウニングの首相官邸に至り[illegible]

今田中尉遂に絶命

勳功により大尉に昇進 五日茶毘に附さる

【屏東電話】飛行聯隊今田中尉は手厚い看護の下に遂に永眠したが生前の勳功により大尉に昇任七位に敍せられた、遺骸は郷里よりの九日到著の豫定である實父母、兄等の來屏をまつて葬儀を執行すべく、取敢ず五日茶毘に附した、折柄四日午後五時半頃飛行聯隊の出張より歸隊した後藤聯隊長も直ちに遺骸の措置をとつてゐる、後藤聯隊長は五日語れると毅然として語る

人生は判らない、僕が大刀洗の航空隊に居た時川田曹長として優秀な腕を示してくれたが、次いで僕が屏東に轉任すると間もなく今田も轉任して來て一緒にありこの屏東へ來て又三度一緒に勤を同じくした因縁であるが盛な手にして他の將校間を廻り歩くその奇特な趣味など何とも云へなかつた、愛すべき人格の士で今まで困難な飛行練習は同君がやつてゐた時六歳の長男がマラリアに罹り、夫人が中心となつてゐた、過般商番に當つてゐる身重なので連れて歸宅するやう勸めたが、六日間家内で寝て家庭を顧みなかつた事敬へられるものが少くない、重ね重ね惜しいことをした

基隆展盛況

【基隆電話】基隆市記念展第六日は前日同様盛況を極め市内小公學校兒童三千餘名の觀覽あり、殊に學童に於ける生徒の作品が最も興味を以つて見られ、本社出品陳列場では本社記者達夫の鎮寧人活動寫真が注目され、最長百二十分間航空七分著海岸分に[illegible]新鋭遠足を紹介しあるを見て、興趣が海を[illegible]

地として基隆に長く延び且つ前期の長い土地柄とて觀衆の者に對し同情をしてゐた、岡本社提供の活動フイルムは第七日より各社の増加をなし上映することとなつた

高橋守雄氏取調べらる

姫路檢事局に召喚 十二時間に亙つて

【神戸五日發本社特電】寔に召喚を受けた元警視總監高橋守雄氏は四日姫路檢事局に出頭、正午頃より山口檢事係り取調べを受けたが五日午前零時半に至り漸く歸宅を許された

内海知事視察

【新竹電話】内海新竹州知事は五日午後一時十分發列車にて羅東へ向ひ[illegible]視察した

讀み物

讀物(一)は本島靑少年向きの讀物で定價一部四錢(二)は一ケ年以内の者向きの讀み物で定價一部四錢である、締切りは第一回は十月を以て締切りとし第二回は十二月三十日を以て締切るが[illegible]

本島人青少年の讀物三種を發行

臺灣教育會で讀者募集

臺灣教育會社會教育部では本島に於ける國語普及の施設たる青年教習所、國語講習所、公民講習所、國語夜學會及び青年團の各施設の拡張を完備せしめると共に愈々本格的となつたが國語普及の目的を達する青少年の爲めに讀み物を得る途がないのを遺憾とし今回本島の國語普及青少年の學力程度に應じた讀み物を三種、即ち「黎明」「光」「國光」の三種を四月より發行する事になり、目下其の準備を急ぐと共に一萬五千部を目標として各州廳を通じてそれぞれの購讀者を募集中である、因みに發行物は月刊で

わが間島派遣軍直に行動を開始

一隊は王德林軍討伐

【局子街四日發電通】三日入間した派遣軍は直ちに行動を開始し四日午後三時○○部隊は王德林軍討伐のため○○○へ○○隊は○○へ出動した

春・街で拾つた話……(八)

桃色の『季節の花嫁』

局員の心をときめかすレター

―やや象徴的に―

あるポストマスターの獨白。

――これが似服ですつて?、ちがひます。事務服です。誰か着ざめてゐるのは、もう永い間太陽をみないからです。

かなんといふオフィスの暗さでしやう。じめじめと冷たいカビの匂ひがする。

あの隅つこにストンストンとスタンプを捺してゐる青年――かれは第三期の肺結核患者です。あの蒼白い爪の腕のやうな指をみてください。

彼は三年間といふもの、このオフィスに勤めてゐます。その間彼はたつた一度も窓外光線に觸れないのです。

あのスタンプの音をききましたか!

ストン! ストン!

なんといふ空虚な力ない跡氣な反響でしやう。それは死の壁をノックするやうな、無限の暗黒の響きです。

白い鳩の群れ――翔くらつづきつた人影―

あれは葬列ぢやないかつて――それは貴下の幻想ですよ。ヨクみて下さい。あれア行進ですよチャラ、チャラ! 混乱と瑞れあふ音が聞えますか。あれア紅白の網絡をしてゐますかね、西洋のやうな男ですよ。[illegible]金色をしてゐる[illegible]

ボクはあの空虚のチャッチャッ・チャラ・チャラ[illegible]

をしつときいてみると、規律の一つ一つが、まるで生きてでもゐるかのやうに、そしてその一つ一つ生命をもつた風貌か、異國の響きか、見ちらフタンカーメン王の呪文を唱へてでもゐるかのやうに、ぶきみな調律にとらへられて胸はずツとするときがあります。

此所ここは太陽がないです。シルエットかないです。

貴下か、ここを通つてか、窓際と問へて、ボクの黒い事務服を喪服と見あやまへられたのは、無理もないと思ひます。

× ×

季節ですか!

太陽と緣のない、このオフィスには季節がありません。この間ある事務員が

「マスター、サクラってサンフランシスコにもあるんですか」

と聞きましたかね、「イソコガサクラの花を浮べてゐる。その下で晴い緑の女が、桃色の服をした男に抱擁してゐる夢をみたんです。

サンフランシスコのサクラは今ごろ咲くですからね。

ボア季節の變化がわからないだらうって。

ところがわかりますよ。テガミで――レターでです。

レターは實に季節に敏感です。それは花よりももつと敏感です

三四月――季節的にいへば初春から初夏の色か、匂ひかするレターとなり全くわかつてきます。色が桃色で、匂ひがスミレのやうになります。殊に初婚――一つ書き人生への芽生えか、桃色の封筒の中に並んでゐます。ボクは、ある方法で受取人に渡らない前に、その中の文字を盗むことに成功してゐるんです。この桃色、[illegible]その記録を[illegible]

「もう地上に出るかたた!」といふことを祝するのです。

× ×

すます。

でボク達、このレターのことを「季節の花嫁」といつてゐます

いいぢやありませんか!季節の花嫁!隣じてニイチエの[illegible]やありません。

× ×

三四月頃の、この桃色の、スミレの匂ひを濡めたレターは、ところがどういふ譯か、デツド・レターとなるのが多いんです。つまり受取人不明ですね。

ボクがマスターとなつてからだけでも、デツド・レターは三千通くらゐありますが、その九〇%が桃色の封筒です。

何故でしやうか!

× ×

太陽のある所にゆかないかつてありがたい。だが、ボクは土龍か前の地から出たばかりで、子供たちにはたぷり留された前例をしつてゐます。

太陽の國は、ボクたちな[illegible]にしますから

大成功

【東京三日發本社特電】上野に開館中の產業博覽J・O・A・K特設館には東京式、濱松式兩方式のテレヴイジヨンが出品され人氣を集めてゐるが、濱松式は遂に最後の試驗も手間取り二日午後初めて公開實驗をした、結果は十尺に八尺の大スクリーンに映寫されるに反し、濱松式は約一尺四方の映像であるが極めて鮮明に寫し出され、約一丁離れた放送局内の講演者の顔や煙草の煙までが手にとるやうに見られ、家庭用として實用價値百パーセントの折紙が付けられ、裝置は講師者は暗箱で操作し、光は送受する間隔の百餘の穴を通過し、人體から反射されて受話管に作用するもので

受信機

はゲル・セル高能率の光電管を代りに直徑一尺餘のブラウン管を使用されてゐる、放送事業にこれに刺戟されテレヴイジヨン放送の具體的研究を進めることとなつた

テレヴイジヨン放送をJOAKで研究

濱松式の實用價値百%

看護婦卒業式

臺北醫院看護婦助産婦講習所にては六日午後二時より臺北醫院講堂にて看護婦助産婦卒業證書授與式を擧行する事となつた

南國齒科醫師會總會

「南國齒科醫師會」は四日午後四時より市内蓬萊閣に於て第二回總會を開催した、出席者は常務理事陳增全、陳源周、余鍋氏の他全島各州理事が三十餘名、種々具體的事項を協議した上臺北齒科醫師會の內紛に處すべき今後の態度を申し合せ午後六時頃閉會した

厚東中將以下を首相が招待

【東京五日發電通】犬養首相は五日午後零時半第一師團長東第十一師團長以下元第二十四旅團長以下を招待盛大な午餐會を開いた

宜蘭線で内地人が轢死

【基隆電話】五日午前六時頃基隆市深澳坑宜蘭線鐵路附近に四十歳位の内地人男が死んでゐるのを通行人が發見、屆け出により基隆署より警部補出張檢視したが、基隆驛發午前五時八分下り蘇澳行列車に轢ね飛ばされて即死したものと判明したが住所氏名不詳なので目下取調べ中

泉岳寺に爭議起る

寺男十四名の解雇から

【東京四日發本社特電】赤穗四十七士の墓所として有名な高輪泉岳寺に労働爭議が勃發した、お寺の爭議は恐らくこれがはじめてであらう、爭議勃發に至つた原因は現管主小林泰治師は過般突如として逝いた小林泰明師の後を繼ぐと同時に寺法と經費の關係と稱して、寺男使用人十四名を解雇して、僅かばかりの手當を與へたが、使用人等は解雇する事が既に怪しからん事であるが、解雇するとせば先代管主との間に約束されてゐる大正三年から昭和六年末迄の下足料利益金の半額約四萬圓を貰ひたいと申込んだが、一向に埒が明かないので爭議團員は憤慨し、四日社民黨本部を訪れて應援方を懇願し此の應援によつて敢然戰ふ事となつたと

豚切庖丁で老人を斬る

【基隆電話】四日午前九時頃基隆郡瑞芳出九分市場内で同地鉄子頭湯屋業謝術(六五)の兩名は金錢の貸借問題から口論を起したが、謝は突然市場内の豚切庖丁を取るなり謝の後頭部に斬りつけ瀕死の重傷を負はせそのまま逃亡したので届け出により瑞芳警察で搜査の結果金瓜石公學校附近で逮捕中に同地派出所員が逮捕した、因みに謝は發作的の精神病者である

商況

各地氣溫(四日)

臺北地方 風向定らず晴れ雨の模様あり

	最高	最低
宜蘭	三一・三	二〇・二
臺東	二七・九	一九・二
高雄	二九・〇	二一・八
臺南	三〇・〇	二〇・五
澎湖	二六・六	一九・三
花蓮港	二七・〇	一九・四
臺中	二九・三	一八・二
基隆	二六・一	一八・五
那覇	二三・五	一八・二
長崎	一八・〇	一一・九
臺北	二七・一	一三・六

米況 五日

正米市況(前場)

▲二期蓬萊 當限 中限 先限
受渡 八・七三 七・七二 七・七〇 不申

▲二期丸糯 當限 中限 先限
受渡 九・二五 二・二六 不申

各地期米は昨後場低落の氣先今朝は小戻を見せたが當市場は當限受渡に反つて低落で中限十三錢出來丸糯も中限のみで二十六錢出來その他不申引跡保合

大阪期米

▲前場

	當限	中限	先限
節一	二二・八〇	二三・四一	二四・二六
二	二二・九二	二三・五三	二四・一二
三	二三・〇四	二三・六四	二四・二四
四	二三・〇八	二三・六八	二四・二六
五	二三・一一	二三・六七	二四・二七
六	二三・一一	二三・六三	二四・二三
七	二三・〇九	二三・五六	二四・二九
八	二三・〇四	二三・六六	二四・二八
九	二三・〇八	二三・六六	二四・二七
十	二三・一二	二三・七三	二四・二九

▲後場

東京期米

▲前場

	當限	中限	先限
一	二三・一八	二三・七〇	二四・三〇
二	二三・一五	二三・七〇	二四・三九
三	二三・一八	二三・七〇	二四・二〇
四	二三・一八	二三・六九	二四・二九

	當限	中限	先限
寄	二二・九一	二三・四三	二四・二一
止	二三・一〇	二三・七〇	二四・二九
高	二三・一一	二三・七〇	二四・二九
安	二二・九二	二三・四三	二四・二一

▲後場

	當限	中限	先限
一	二三・一七	二三・八一	二四・三五
二	不		明
三	二三・〇〇	二三・八〇	二四・三八
四	二三・二五	二三・七一	二四・三七
五	二三・二三	二三・七二	二四・三九

神戸期米

▲前場

	當限	中限	先限
寄	二三・八一	二三・三五	二四・〇九
止	二三・〇〇	二三・七一	二四・三九
高	二三・〇〇	二三・七一	二四・三九
安	二二・八一	二三・三五	二四・〇九

▲後場

	當限	中限	先限
一	二三・一三	二三・七〇	二四・三六
二	二三・一六	二三・七三	二四・三九
三	二三・一三	二三・七三	二四・三九

▲市内築地町一ノ四方面にコソ泥が非常に多いです(被害者)

▲純金の買上げ取扱ひ所知りたし(父少年)▲臺南州より街庄吏員の長期講習の開催を願ひたし(一吏員)▲東部銀行部と臺南衛生部とどう違ひますか(お答生)▲臺北放送局か臺南を中繼すると他局か入つて聞かれません(移動生)▲遞日グラフへ全快や結婚啓事を出すには金がいりますか(グラファー)▲金など勿論いりません、寫眞と其の説明とを本社グラフ係宛で御送り下さい、勿論稿は本社にあります(係)▲放送上他局分離を欲するなら八球以上を買へよ(スーパー生)▲不案内アジンコートの住民は二十七名です(基隆支局)

天氣概況 (五日)

本島附近は風弱く島内は中部以北は雲勝ち臺北は小雨を催して居りますが其他は概ね快晴の好天氣となつて居ります

▲大氣壓 (六日)

中一陽 南乃至西の風弱く曇り但し臺北の[illegible]

廣告

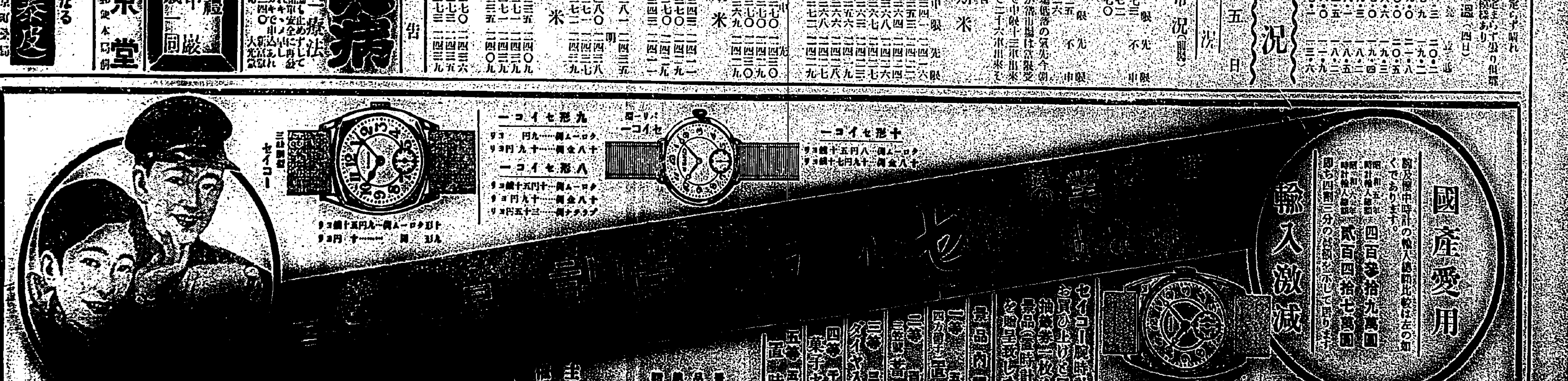
ワエルカム

りん病 世界一療法 酒 [illegible] 新竹市[illegible]

會葬御禮 田中巖 親戚一同

店舗擴張記念の爲め 特別廉價期間 メガネ・時計二割引 東京堂 臺北市榮町

◎今が慢性皮膚病の根絶期です それには效力本位にして絶對有效なる 皮膚病新良藥 タイピ(秦皮) 各藥店にあり



殘月譜（147）

志乃田廸司作
清水三重三畫

見えぬ絲（三）

駄三は。
「江戸の方か」
「で、こちらへは、どうして？」
「はい、訪ねる人がありまして參りましたけれど――」
「判らなかつたのですか？」
「いいえ、判りましたけれど」
「もう、此の世には、居りませんで――」
「それは、左様で御座います」
「それで、その頼る人が、その娘さんが、折角はる〴〵やつて來たのに死んでしまつて困られたのでつい後を追ふ氣になつたのだ」
「いいえ、旦那様」
「それで使つて、江戸から、おいでなすつたのか？」
「たつた一人の娘でしたが――」
「そりや氣の毒だ」

の皆沙汰も御座いませんし、此頃では平内殿の肝がきかず、厄介にならう、死水も取つて貰はうと、こちらへ、とぼ〳〵歩いて参りましたのでしたが、その頼りとする娘も、その旦那さまも、去年の風邪で、ころりと死んでしまつたさうで御座います」
「ふう、そりや、氣の毒なことだ。それで男の御子さんの方の行方は知れませんか？」
「それが、あなた！」
老婆は世にも悄ない顔をして。
「世間さまに顔出しの出來ない、申譯のない人間になつてしまひまして――」

と泣き出しさうになつた。
「おつと、泣いちや判らなくなる」
「――この世間に顔出しの出來ないとは」
「はい、面目次第も御座いません、親の首へ繩をまく不孝者で御座います。木屋とか二十日鼠の新蔵とかの仮名さへある悪黨になつてしまつたので御座います。旦那さま、誰にも身寄もない私、それに悪黨の息子の噂を聞くのが一日とても嫌で御座います。どうぞ、お見逃し下すつて下さいませ。おたづね出しなさいませ。此のお家では、此の町には九助さんとやら大層御慈悲の深い方があると、北國へ行け、と教へられはしましたけれど、悪人を子供に持つ因果な親、どんな御迷惑が掛かるかも知れぬと思つて、矢つ張り死ぬが一番と、心を定めましたので御座います」
「さうか！よく、お話しなすつて下さいました」
駄三は嘆息しながら云つた。

人の子供がありました。亭主には早く死に別れまして、女の手一つで苦労して育て上げまして、初めのうちは二人の子供、上が男で下が女で御座いました。が、質直に働いてくれまして、やれ〳〵苦労して育てた甲斐がある、と喜んでも居りましたし、近所でも羨やまれて居りましたが、上の男の子がどうしたはづみか賭博場へ出入することを覚えましたが病みつきで、それから、旦那さま、いつとはなしに家を飛び出してしまつたので御座います」
「ふーん、そりや不心得なことをしたものだね」
「はい、それからと云ふものは妹の方は茶屋へ奉公をし、私に金を送つて居てくれましたが、茶屋から茶屋への住居で、どうにかかうにか――働いて居りましたが、旦那が出來たとやらで、少しまとまつたお金を貰ひまして、娘が此の我孫子へ参つたと聞きましてからこちら丁度まる一年になりますが、何

隨筆 談話の哲學

馬場孤蝶

どこの誰氏であつたか、今誰かに聞いてみないか
しい人でもなければ到底やれることではあるまいと思ふ。同じ相手に向つては同じ話は絶對にしないと努力してゐてさへも、我々常人には往々つい忘れて同じ話をすることはあり得ようと思ふのだから、かういふ努力をほとんどしない、僕などの場合にあつては、随一層同じ話をすることがしば〳〵になるのは當然であらう。だから、それを笑はれても、どうも仕方がないと共に、僕の方ではさう恥かしい事とは思つてゐない。ところで、僕自身の場合を離れて唯一般的に、人が同じ話を二度する場合の事情を考へてみると、それは必ずしも、その人の記憶が悪いといふことばかりで笑つてしまふ譯には行かぬであらう。

話の上手

な人などにあつては、同じ話しをもう一度やつて置く話しをしてみたいと思ふこともあり得るかと考へられる。さういふ場合など、相手が前の時と同じ人であらうがあるまいが、それは話者にとつてはどうでもいい問題になるであらうこともある。現に同じ相手と知りながら同じ話しをするであらうし、それどころか、相手が前と同じ人なるが故に、わざと同じ話しをして、どうだ前の時よりは今度の話し方の方が旨からうといふ顔つきでゐることもあり得ようかと思ふ。のみならず話の上手な人などになると、人からあの話をもう一へんやれと所望されることがしば〳〵ある。しまひには、その人の得意な話、いはば持ち話といふやうなものが出來る。そんな話でも話していつも〳〵、定規に當てたやうにさう

キッチリ

同じやうに話すことはまれだ。さういふ場合前に聞いた時との差違に氣をつけて聞くのもさま〴〵な意味で面白いものである話し方、聲などはその時ぎりのもので後へ形の殘らぬものだ、誰かが殘らぬから流人の方からは、かういふ話がある。ある人が義太夫が得意で、一夕人を集めて一段聞かせることになつた、誰もまづかつたか、まづかつたか、聲がかすれたか、聲がかからなかつたか、聲ひやうはなかつたか、それでみるうちに、聞衆のなかから「まづい」と聲がかかつた。語り手はカツとなつて「何故まづい」と詰ると、その批評者は語り手の聲に應じて同じ次のやうに答へた「君が僕のゐるこの席へ來て、自身の語るのを聞いて見給へ」

蓄音器の

僕の言葉の誤りでないことが直ぐ分るから。」
場合でも肉聲とは可成りな差違はあると思ふ。ところでなか〳〵むづかしいものだ言葉といふものは、考へてみると、少くつては、時々意が通じないのみか却つて反對の意味に取られることがあつて飛んだ誤解を招くことがある。されば、といつて、餘り言葉の多いのも人にはうるさがられるのみならずある場合には誤意のない空世辭のやうに取られるとか無きにしもあらずといふ譯だ。つまり話は言葉が多きに過ぎず、少きに過ぎず丁度いい程といふところで行かなければならぬものであらうか、そこがなか〳〵むづかしいのであらうと思ふ。その上に相手次第で

その程ど

いふところがいろ〳〵面倒な譯であらうから、ます〳〵

たれでも、場所を異にして、自分の聲を同時に聞くことは出來得ることではないのだから、自分の聲に對する自分の批判は他の形の藝術のやうには正確には行かぬであらう

抑々な〔？〕談話の場合など、完全に話をしやうといふには話す方が餘程緻密でなければならぬであらうし、話す方ばかりでなく聞く方でも相手の年、知識、身分、履歴、好尚などを充分考慮してかからなければならないと同時に、聞き手の方でも同じやうな諸點について充分な考慮を加へて、話を聞くべきであらう。けれども僕は平生その程度のものにすら話を讃めて見ようとしてゐることがかなか〳〵さう實は出來ないのだ。それでついつい口を滑らして了つてへマをすることが多いのである。

不愛想に

但し、一向話さないのも、かへすがへす不愛想にするのは宜しくないことだ。客をもてなして引きとめるやうには話をいろ〳〵とするよりほかはない。充分な馳走をするだけの餘裕のない家では、客をもてなすみちがないのだ。さういふ場合、客が話好きで話しかけて來てくれれば、こちらはうまく相槌を打ちさへすればいいのだ。なるべく默つてゐるやうにするお客には閉口する

旅草鞋 故郷の唄

近く臺北にて上映

原作　松居松翁

脚色……木村富士夫
潤色……大下宗一
監督……犬塚稔
撮影……岡谷英三
――キャスト――
鋳掛の正太郎……林長二郎
獅子吉の安太郎……小林重四郎
牧山の龍蔵……小林一榮
張子の新太……関山昇
石垣の鐵松……井上晴夫
音羽の竹五郎……中村吉松
金太郎政……澤井三郎
安石衛門……中村政太郎
三枡他人……嵐吉三郎
お雪……千早晶子
お澄……河上君榮
お菊……井上久榮

【梗概】鋳掛の正太郎は安太郎や鐵太と遊びに出た帰り雨に遭つた。そして其家の後に雨に降り込められた老夫婦を見つけた。正太郎は内前の親達を思ひ出しそれらかの金を老夫婦に與へて雨の中を去つた。親分竜蔵の家へ帰つた正太郎達は喧嘩をしたが自分達の親不孝が思ひ出され……安太郎と一緒に木曾を出てから十年になるから一度故郷へ帰つて見たくなつた

×　×

そしてある日街道に二人の旅姿が見えた。牧山の身内のものが送つてくれる中に正太郎に馴染の女みよしのお蘭も交つてゐた。ふるさとは祭の囃子にもなつかしみが溢れてゐた。彼等の目にはそれが浮んで見えた。安太郎の家の前で別れた正太郎は我家へ歸つたがそこには既に母は亡くなつて居なかつた。妹のお雪は安太郎の家に引きとられてゐるとのことであつた。で正太郎は安太郎の家に引返した時は安太郎が父から意見されてゐるので自分は其の気持を察して家をそつと出て來た。

×　×

やがて正太郎は故のなき身を、自分は再び親分牧山の許へ帰るから安太郎に言づけて目で泣いてくれと云ふ二人は再び親分の許へ帰りこれつきりやくざを止めたいと誓つたのであつた。芝居の時になると聞いた親分は送別の宴を開き居合行をやつてくれることになつた

×　×

芝居の最中をねらつた音羽の竹五郎一味は日頃から正太郎と仲が悪いので正太郎に喧嘩を賣つて來た。正太郎は親分や町の人々にかかる迷惑を恐れ竹五郎の家へ單身出かけることに決し安太郎に妹お雪のことをたのんだ。そして竹五郎の身内へ斬り込みすべてを斬り引き受けた。喧嘩の果て彼はお蘭や安太郎に身を隱し多くの客に紛れ込み、故郷の人となつたのであつた（寫眞は林と千早）

公開欄

本欄は讀者の自由舞臺▲用紙は不可▲行數は十五字六十行以内▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

空に飛行機 地に戰車

タンク生

◇今次の事變に於ける飛行機の活躍は實に花々しいものであつた。それと共に悲壯たる銃後の人の愛國心の發露が澎湃これに加へされて愛國號の獻々と現出されたことは國民として非常に心强いことである。實際に飛行機の活躍は花々しいその效果は物質的精神的に最も偉大なるものである。支那の匪賊が飛行機の地上爆撃を最も恐れたと云ふも無理からぬことである
◇然し乍ら戰鬪は常に空中に於てその終りを遂げることは出來ない必ずや地上戰鬪の果敢なる肉彈突撃によらなければ最後の效果を收めることは出來ない。然し乍らこの貴重なる肉彈の犧牲は同胞として あまりに痛ましい限りにも思へる。ここに於てかこの肉彈の犧牲を少くする爲に我が戰車の存在がある。今次の事變に於ける戰車の活躍を傳へられてゐないのは實に殘念である肉彈三勇士の英靈も我に有力なる戰車隊の存在があつたならば國家の爲に貢ずところあつたかもしれぬと思ふ
◇我々は最も關心せねばならぬがヴエート聯邦の飛行機勢力は一五〇〇、米に一、六〇〇に對し日本は約六〇〇を有してゐるのに戰車に於てはソヴエート及び米の三五〇に對し僅かに約五〇を數ふるに過ぎない現に久留米に大隊を有するのみである。然も將來の戰鬪に於て戰車の緊要なることは其の知るところである
◇歐洲大戰によつて我國は科學兵器に於て歐米に一歩遜れた。然し航空機に於ては今や彼と伍ぶも決して譲らざる水準に達したと信ずる。然しながら戰車に於ては遠く歐米戰車の研究時代を過ぎて益々日本獨特の優秀なる戰車研究を試み今や日本戰車隊の一大躍進を爲さんとする時期にある。此の時期こそ國民の最も熱烈なる後援を要するときである
◇歐洲戰爭の結末を早めたものは英軍に於ける戰車の出現であつたことを戰史に物語つてゐる。獨逸が大戰後條約によつて飛行機と共に戰車を裝備することを禁ぜられたのは何故であるか？連戰連勝を涂する帝國の地上部隊は現在の機械化部隊を以て滿足するのであらうか愛國の士の我國戰車隊の發達の爲にの熱烈な援助を惜しまざらんことを切に希望する次第である

ゴシップ

のやうなものの中に、凡そ左の如き意味のことが載つてをつた「馬場孤蝶はだれをつかまへても、際限小說の話をする。それで、同じ話を二度聞かされて閉口する者もある」一寸聞くと、これは笑ふべき話のやうであるが、實際の場合を考へると、さう非難には行かぬと思ふ。我々は雜談をさう慎重な態度ではやらない。いはば、その座の座興ぐらゐに考へてまアさう責任のない態度で話をする。從つて誰にはこんな話をしたとかそれがしにはかういふ話をしたとかいふ風に一々記憶しやうとは力めないものだと思ふ、事務の話とはちがひ、さういふ點はたれでも大ざつぱにやつて出るのであらうと思ふ、雜談の場合まで、さう一々心に覺えてやるといふことは、我々尋常の腦力の者の到底その骨折りに堪へ得るところではない。雜談の場合

同じ話を

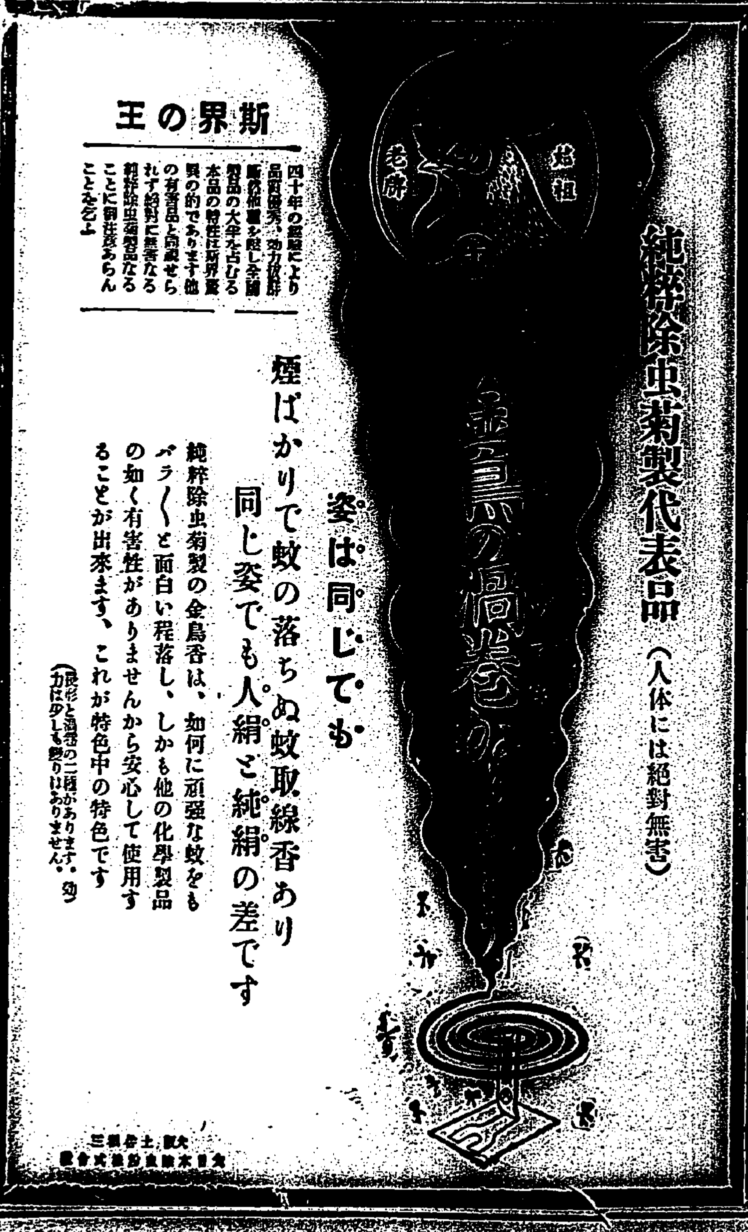
同じ人には絶對にしないなどといふことは餘程記憶の宜

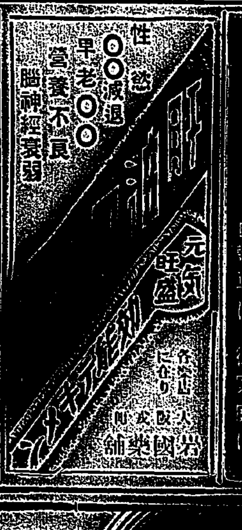
新刊書目次

書名	編著者	定價	發行所
日本民謠	[illegible]	[illegible]	[illegible]
謄寫製版と印刷の新技法	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水彩畫の智識	[illegible]	[illegible]	[illegible]
漫談經濟學	[illegible]	[illegible]	[illegible]
最近の祕露	[illegible]	[illegible]	[illegible]
我が日本の教育と滿蒙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
グランドホテル	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ミリの第一歩	[illegible]	[illegible]	[illegible]
川柳巻談は一からは一へ	[illegible]	[illegible]	[illegible]

臺日案內

書籍　平光書店
藥種商　ネオ・エルビン
醫院　梅野醫院
內地土產　三共舍
寫眞　寫眞機の御買時
新鋭カメラ各種新著
活動寫眞は
◉寫眞速成
下宿屋　下宿太陽館
御下宿福井館
製靴商　ヒコウ運動靴
染物洗張　五月幟丸三
樂器　山葉オルガン
紙文房具
萬年筆大勉强
洋畫材料は小塚支店
旅館　頂北投溫泉
世帶道具　萬年漆器特約
自動車
雜件　メガネは東京堂
まさかや
大理石各種
五千圓
バイオリン尺八
職業
小資本金儲
イシラバス　競馬遊器





皮膚病新良劑　タイピ（泰皮）

漢文臺灣日日新報

停戰本會議議論滔々 中國不讓步則會議停頓 或一氣致於決裂

四日上海電。第十一回停戰本會議。四日午後三時。在英國總領事館開會。毫無成議。欲休會至六日。乃再向政府請訓。午後六時二十分散會。重光公使。謂會議前途全然不可知。會議內容如么。

本日本會議。以英國案爲基礎。逐條討議。新整理案。項目之分類。與義之整理案同。

第一、中國軍隊駐屯地內蘇州河以南。及浦東。南市中國軍撤兵。

第二、我軍撤收區域內兵撤方面。

第三、我軍租界內撤收時期。

以上逐次討議。而問題焦點。乃在我軍租界撤收時期。我國最後手段。謂日本軍若見上海秩序回復。當即時撤收于租界。及附近地帶。提議點以植田⊙團長之名聲明之。而中國不肯。闡執明示時期。議論不進展。本日會議。日華双方誠努力討議。中立國之仲裁的討議亦盡。今後惟俟兩國政府意向。決定最後的態度。本日會議。日前双方所主張。我植田⊙團長聲明案。中國關撤兵時期二案最後的各請訓政府。然後決定態度。會議於險惡空氣中散會。若中國於次回會議不讓步。則會議必長期停頓。或一氣決裂也。

停戰會議多少接近

四日上海電。停戰會議散會後。發表左記聲明書。

第十一回會議。午後三時至六時之間開之。特如日本軍撤收時期問題。交換意見。多少接近。來七日午前十時。再開會議云。

停戰會議小委員會

四日上海電。停戰會議小委員會。午後六時四十分散會。發表左記聲明。小委員會。自午後三時開會。就日本軍撤收及撤收地域適否。討議各種案。中國送要請訓之點。至六日午後三時之間休會。

兩派妥協 對日問題 決爲共同動作

上海四日電。四日。汪兆銘與孫科會見。南京。廣東兩派妥協已成。對日方針。決一致爲共同動作。

聯盟委員 將赴南京

四日漢口電。今朝來漢之聯盟調查一行。四日正午臨市長歡迎午餐會。午後三時。出席列國商業會議所茶話會。次列席省政府首席夏斗寅氏晚餐會。明五日午前中。視察災害地區。正午臨漢口商總會歡迎宴。午後再視察災害地區。武漢大學。同夜赴綏靖公所主任何成濬氏晚餐會。午後九時。將搭龍和號赴南京。

聯盟調查員 不赴北方 因慮共匪爲害

四日漢口電。聯盟調查員中止平漢線之北上。返至南京。蓋因平漢線因兵匪危險。裝者武漢政府。接李頓卿一行來漢之報。平漢沿線百華里外。有勝迫共匪之珍妙命令。不意徐源泉軍。反被兵匪擊破。武漢若出一步外。則受務成。恐生往年之臨城事件。故一行中止北上云。

張李兩氏 不穩豪語

四日上海電。張發奎有豪語。我軍決定應參廣西、出山前線。余等決爲黨國而死。又李濟琛「日本軍宜二週間以內撤兵。不然。余等雖至最後之一兵。決對日本徹底抵抗」。

朝鮮疑獄 追徵金問題

四日東京電。朝鮮疑獄一審判決中。由嶋、斯浮、川崎取追徵金五萬圓。乃不適法。成法曹界問題。四日判決。已不由川崎取追徵金。附一審因供于犯罪用之物。爲之沒收。廣義解釋之。二審解釋爲政府收得之金品爲之沒收也。

上海商店 開業尚少 對邦商不買賣

四日東京電。上海一日後外務省著電。租界內外商店大部分。一日已開業。然虹口。北四川路方面。復歸遲延。不過一部分開店而已。中國因一般直接事變之善後措置。金融關係等。停戰會議之形勢。亦爲顧慮。新貫貨尚未進行。又排日氣分未除。對邦商之顧客。依然杜絕也。

三井三菱融資 刺戟財界各方面 資金一億圓易得

五日東京電。滿洲國借款問題。已見決定。兩財團并具體的手續完了後。目下先將五、六百萬圓。由經參機關融通。以後漸次應滿洲國一般之必要。決定融資二千萬圓。而兩財團不僅此借款。以今後滿洲國開發資金。若有必要。約五千萬圓。甚爲融資。第兩財團對滿洲開發著先鞭。于財界各方面。有異常刺戟。而經濟聯盟。愈亦將出爲援助。近應以何等形式。表示意思。因而住友、安田等亦應感動。故欲得開發資金一億圓。殊覺容易。

南總督巡視官衙 四日午前九時起向市內

南總督。去四日。偕池田秘書官等。由中瀨知事向導。初巡視市內。其前夜招待其舊知阿部軍司令官。幣原北大總長。竹內高等法院檢察官長。在草山貴賓館歡談。翌日午前八時歸邸。九時發官邸。到臺北州廳。接見岩瀨內務部長以下諸奏任官。及判任官各課長。聽取中瀨知事約十分間。說明州治概況後。視察陳列於樓上之州下代表物產。一巡廳舍內。向臺北市役所。受助役以下各課長謁見。由西澤市尹。說明市政大要。市尹利用僅少之時間。就市區計畫。殊如道路問題。市廳舍改築問題等。縷々陳述。總督巡覽廳舍內。十時發同所。到鐵道部。由挨部內奏任官。總督與堀田鐵道部長間。簡單敍禮。省去報告。一巡廳舍。到稅關。接見諸重要職員。聽取增田稅關長說明。其主要輸出入品見本中。如鹿鞭。沈香諸特殊品。說明者。頗費苦心。次到憲兵隊。在別室。聽取沼川隊長說明。十一時十分。發同所。到警官練習所。聽取今川教官。說明所內概況。視察臺中事件當時。兇漢趙明河所使用之短刀及西來庵事件等之參考品。練習生之武道。教練。十一時半。入官邸。午餐。午後一時五分。往圖書館。由山中館長。報告概況。一巡書庫。於一時半。抵遞信部。有堀川總長。深川部長說明。一巡部內。到高等法院。由後藤法院長。竹內檢察官長。各報告士管事務。沿線下。到地方法院。由件野法院長。武松檢察官長。就事件數。與職員。蘇生等詳細說明。次到專賣局。接見奏任以上職員。並聽取專賣局報告。入陳列室。聽取粗製阿片鹽。樟腦。煙草。酒原料及生產過程等。目擊及明治三十年阿片吸食者十五萬人。昭和五年。減至三萬人之統計表。忽發質問。次巡覽樟腦工場內。於三時半。抵刑務所。視察概況及製品。午後四時。歸官邸。總督席不暇暖。自四時半起。再受友部警務局長。報告事務云。

國民政府緊急會議 對日積極的備戰 以蔣介石爲主宰

四日南京電。蔣介石與午後二時半。歸上海之汪兆銘以下政府要人。午後三時至五時之間。開緊急會議。協議對日問題。而對日本爲最後之決意。決以積極的備戰。會議出席者。于右任。李濟琛。張發奎。蔡廷楷等。而對日半事。決以蔣介石爲主宰。

高文合格採用試驗 應募者超過二十倍

四日東京電。內務省關係七年度高文合格者採用試驗。自五日起一週間舉行。志願者約四百名。內於此三月各大學卒業新學士三百二十名。現在地方廳勤務中高文合格者八十名。採用者目下僅二十名。只有例年半數。競爭激烈云。

柯子林堤防 陳情請設

羅東郡冬山庄柯子林。若年中水害而困。有六十餘甲。最近米價騰貴。業主及佃人。凡百三十餘名。對銀行或信用組合等。融通資金萬數千餘圓。自三月以來。着手復舊工事。現已告竣。然爲防止小南澳溪之溪水汎濫。自客年來。委員數次。向當局陳情。請設堤防。至今未見實現。故三星庄大埔方面及柯子林地方民。不日欲再派委員。赴羅東郡役所及郡州當局處陳情。懇及早設柯子林堤防云。

日華意見衝突 乃在撤兵時期問題 我國斷不讓步

四日上海電。重光公使。本日會議前語左。英國整理案。昨日受取。日華意見衝突。乃在撤兵時期問題。我國斷不讓步。然務欲使其就緒也。

臺南大天后宮諸董事 與北港朝天宮當事者 議解決媽祖懸案

臺南大天后宮諸董事。自發年因真假媽祖問題。與北港朝天宮各執事。發生意見後。感情疎隔。不相聞問者。十載於茲。今回兩廟紳董。鑒於是案久懸。不特有乖敬神觀念。且於兩廟生意。亦深受影響。故諸有志。乃出爲斡旋。務期重敦舊誼。共荅神庥。事緣十數年前。當朝天宮建築時。經費浩繁。會託臺南商石誤記。爲之勸捐。石氏乃與之約。謂將來廟成。北港媽須留一尊。永爲臺南鎮座。於是石氏甚爲奔忙。計勁捐七萬餘金。事後該廟執事。不踐前約。竟以該地糖郊所奉之糖郊媽。僞充朝天宮媽祖來南進香。遂留祀於是。其後經人道破。臺南人士大憤。欲請其以正身還。等不肯。糾葛因是而生。幾經交涉。終難解決。兩廟之交誼。等於冰炭。百數十年來相沿來南進香之舉。亦遂中輟。此次計議妥協動機。聞係該地糖郊媽諸派下。以已等所奉之神。久客不歸。勢難撤默。乃向朝天宮當事者。欲索還元所祀之神。以此久年懸案。又見重提。去三日臺南諸紳商。集於大天后宮事處。德商其事。衆議謂敬神不分畛域。彼此均可讓步。結局決議三數條件。將與蘇顯藜氏等妥議。其決議案如下。一、依大天后宮選定日期。通知於北港廟事務所。印刷『臺南大天后宮進香』旗條。遍貼神輿經過各鄉村。二、進香神輿。當將朝天宮元有二媽三媽。迎進大天后宮。爲信徒參詣之便。三、歸港之日。須將三媽寄祀大天后宮。而二媽及前之糖郊媽。得以迎歸奉祀。四、翌年進香時。仍將二媽迎進大天后宮。與寄祀之三媽合祀。以供信徒參拜。翌日歸廟。二媽迎回(餘略)

郭泰祺提出辭表 欲避會議決裂責任

四日上海電。汪兆銘氏四日午前。會見孫科。午後乘飛行機歸南京。先是郭泰祺氏對汪氏提出辭表。蓋欲避會議決裂時之責任也。

花蓮港廳 就總督巡視 議送迎方法

花蓮港廳當局。關于南總督初巡視東部。去四日下午一時。集市內各官衙長。及各課係員。開磋商會。協議迎送方法。大體決定如左。

一、總督訂來八日午後六時半。經臨海道路抵花蓮港。出迎者。自築紫橋畔。至登記所前。各堵列于所標示之處。翌九日下午三時二十八分。發旅館。途行者。自黑金町大工商店前。至停車場。各堵列于標示所。及各官衙長高等官民間重要者。八日在旅館前迎接。九日在驛構內送行。總督一行。通過新城時。即鳴汽笛爲號云。

今川知事 視察烏山頭

今川臺南州知事。去四日巡視管內旨事。五日午前八時。驅自動車向麻豆。視察郡役所。麻豆街役場。明治製糖會社。文旦園等。正午抵烏山頭。視察大圳貯水池。午餐後。搭下午三時四十九分番子田發列車。向嘉義。同日下午四時二十三分。歸抵臺南驛。

氣溫差廿度 疾病續出

中部地方。去一兩日來。連日氣溫。八十度左右。與盛夏無異。若降雨時。則氣溫俄降至六十度。晴今爲氣候不順。患疾者出。各病院皆告滿員云。

知事初巡蘭陽

中瀨臺北州知事。因八日南總督初巡東部。逆行至州境後。自是日起約四日間。欲初巡蘭陽三郡。現經文書課作成日程云。

山下氏葬儀 五日在新公園

故陸軍步兵佐長山下義夫君葬儀。五日午後三時。在新公園。由總督、軍司令官、總務長官、守備隊司令官等。暨官民有力者臨席。赤十字社。各在郷軍人分會。各町會青年團。婦友會。市內各學校生徒參列之下。盛大舉行云。

竹林內鑿筍中鬧事 臂肉被削去一大塊 臨檢刑事腦貧血倒地

竹山郡鹿谷庄小半天人。林泉猛。年三十五。去三日下午二時頃。往內樹皮及小半天境界山脈。地名中畚。已有竹林鑿筍。不圖庄內樹皮人。葉四林。年十九。亦在該處鑿筍。兩爲爭執竹林區域。泉猛被四林。用所持筍刀。批去一大塊。左臂部赤肉。外被斬數處。鮮血淋漓。郡當局接報。立將加害者拘引取調。是時赴現場檢視之河原田刑事。不堪睹其慘狀。突起腦貧血昏倒。恰後頭部。撞觸岩石。受傷一處。立昇往英美醫院治療。聞者謂刑事有不忍人之心。而年僅十九之青年。乃如是之殘忍何也。

六家蔬菜展 褒賞式授銀盃

新竹郡六家庄。前月中旬所開之蔬菜品評會。經宮崎郡技手審查。去四月一日。上午十一時。在庄役場舉褒賞式。入賞者分五等。各授以銀杯一個。一等賞中斗崙蔡城。二等賞芒頭埔陳阿炎。三等賞隘口黃塗城。三等賞東海窩黃東水。以外四等賞二名。五等賞三名。

投海自殺

臺北市大平町四丁目金銀細工商金瑞山頼。發成之長女顏賴氏香。年二十一。去四日午前六時。乘家人熟睡中。潛出。到臺北橋投身自殺。死體尚未發見。原因不詳。現調查中。

私服四憲兵 捕一劇盜

去三月二十七日午後十一時五十分。市內川端町方面。有私服憲兵四名。圍捕一劇盜。其人本籍福岡縣福岡市地行西町五八番地。乾物行商水谷倉二。年二十三。素有賊癖。去二月五日。流浪入上海。因不如意。折歸臺灣。同月十五日。僞名爲水谷政夫。搭亞美利加丸渡臺。再僞名爲久留米市東町會社員才田忠夫。投宿於市內新華三州樓逆興。翌十六日午前十時。潛入文武町某宅。竊去貴金屬類。其後向乃木町。南門。旭町。大正町。文武町。川端町。御園村。殆互全市行竊。在大正町曾竊取日本刀一柄。總計被害價格。達五千圓。欲搭二十八日出帆逐家丸。歸內地。至於二十七日夜半。徘徊中就捕。同人極大膽。行竊之法巧妙云。

三芝庄業主 懇談慰安 各交換意見

淡水郡三芝庄模範業主曾慶餘氏。近爲業佃間融和。喚起佃人愛地觀念。于六日午前九時。招集佃人四十餘名。假同庄公會堂。主開佃人慰安懇談會。其協議懇談事項。一、小作米品評會開催所關件。一、小作資金供給所關事件。一、堆肥舍及改良豚舍建設獎勵所關件。一、農事改良施設確所。並聽取佃人意見。以上各項。業佃間無隔意交換意見。以資農事改良。殖產興業向上諸話。曾氏現爲同庄協議專務。爲人篤實好義。對地方改善。產業振興上。不遺餘力。其父石吉氏。元爲同庄々長二十餘年間。盡瘁于地方開發。故同庄民情溫和。精勵生產。有勤儉節朴美風。而令郎慶餘氏。復承繼父志。託身于殖產興業方面。且力事改良。將來或得爲一般良範云。

白晝強奪村婦金環 犯人捕往送大甲郡

大甲郡沙鹿庄竹林陳秀樹之妻陳王氏。與其叔母。於去一日上午。往清水受醫診察。午後四時頃。歸至沙鹿小學校後邊次。被同庄社口人黃猪。年三十餘。強奪金環一箇而逃。爲急報警察所。西村部長。河南陳三巡查接報。急赴現場追捕。立拘之。到所訊問。則云該物在田埔粉失。即再牽至該處。搜查不見。後再回所。則言前有向庄人陳某借金。故將此物與他抵當。隨召諸關係者訊問借金事實。各云無有。即放他回去。獨將黃猪送郡云。

池中殘火宜愼

嘉義郡竹崎庄樟樹坪五四七林滾滿年四十七之家。去三日午後一時頃。突然發火。是時壯丁團員及庄民出救。同三時撲滅。損害六十圓。發火原因。爲炊事場灶中殘火不愼云。

詐取株式 保證金五百圓 日夜豪紳揮霍

本籍神奈川縣足柄上郡福澤村字竹松。現住高雄州鳳山郡鳳山街鳳山火房口。右高山仙太郎者。年三十七。自本年三月二日。流落鳳山郡大樹庄大樹部落。煽動某內地人。購買南滿鐵道株式會社。新株五十株。詐取保證金五百圓。日夜豪遊于各旅亭。揮金如土。被鳳山郡特務課。河野、詐英兩刑事探知。四月二日午前十時頃。在街中徘徊。即捕入郡內留置。目下取調中云。

新豐某小校長無行 率女生受試高女 夜在某寺加以非禮

新豐郡下某庄小學校長某。洛月二十日。率其所教授之女生二名。來南赴第一高女學校考試。投宿於市鹽埕町某寺。是夜猥褻頓發。竟肆非禮於一女生。女生年僅十四。係某公學校長之養女。歸後秘不敢言。後被其母察覺。嚴加盤詰。姑吐實。其父大憤。立向郡告訴。某遂被拘去究問。然矢口不承。當局乃以去三十一日。先命其休職。現雖在取調中。經有人從中排解。或能和平解決。聞某當未出事前。則已被命轉勤北門郡下某校。未及赴任。事已發覺。而女聞亦合格高女云。

大甲山球場 情死遺書 蹤跡依然不明

臺中市老松町人上田佐太郎。年四十一。偕初音町吾妻樓藝妓。桃之助。年二十。去三十一日。突然蹤跡不明。其後佐太郎之妻。二日晚接到其夫欲在大甲郡玉田山球場附近情死。々後萬事拜託之遺書一通。又吾妻樓主同時亦接桃之助之遺書。已提出保護願于臺中署。已亦派人搜索。至去四日下午。蹤跡依然不明云。

屏東媽祖 遶境先聲 商訂舊期日舉行

既報。屏東街。慈鳳宮媽祖。祭典繞境一節。去二日。午後三時頃。委員三十名。再集當廟內。磋商繞境期日。及燦行故事。磋商結果。繞境決訂舊三月二十一、二十二兩日。祭典即越二十三日。而準備燦行故事。即由委員分擔。鼓舞各商團。或詩意藝閣。或大鼓旗。朱江陣等。聞各團體。均抱熱誠。爰比往年。更加熱鬧云。

翰墨因緣

▲基隆大同吟社例會。本期值東張廷魁。何崧甫二氏。訂來四日午後一時。假基隆同風會館開催。

▲斗南雅社第一期徵詩如左。一、詩題。鄧林竹。一、期限。四月末日止。七絕不拘韻。一、詞宗。未定。一、交卷。斗南出溫厝角英利益收。一、薄贈。十名內由社員告附。

▲竹南郡一部人士。爲欲振興漢學。五年前特聘四川省漢文教師設帳。今者番組織詩人團體。四月一日創立瀛聲吟社。同日舉發會式。依左記方法。向島內文墨客。徵來珠玉。一、詩題。詩人集會。七律不拘韻。一、詩錄。賞辭。鶴頂格。七言。一、詞宗。未定。一、期間。四月二十日親收(新曆)。一、交卷處。竹南驛前金城富貴館。歡迎多數惠稿。各有紀念薄贈。而三名內。各銀杯一個。但二十名內。獅頭山景眞一組。岩山詩社支贈之也。

▲彰化崇文社第百七十四期課題。並附屬新當吟社第四十三期課題。擬定如左。文題。一題目。人貴自立精神不可諂媚。揣摩外求勞反驗求親。反辣論。二交卷期限。昭和七年六月末日。彰化崇文社內黃臥松。三期限。四贈品。十名以內均有薄贈。臺北市永樂町蔡雪溪先生寄附。五文宗。未定。詩題。一題目。儀人理路。直七律不拘。二交卷。彰化崇文社附屬新滑稽吟社。三期限。昭和七年六月末日。四贈品。十名以內均有薄贈。東瀛。袁仲連先生寄附。五詞宗。未定。

是々非々

大家長女跑風氣。尖端行爲無不至。西丁調頭。渫上。朝陰去作桑間戲。行人不知過其間。慈破鴛鴦交頸唾。男念抽身去如飛。女獨述途惑鬼魅。(閒無奈)

何枕石頭。肯汝不怕跌殊勝。高長古木掛朝暾。鬢髮蓬々睡窗未。(如是我聞)

北部某郡下役場書記之妻。望族格自持。近附某福州人經營。不宜與之活三語四。恐終墮其術中。(瓜田李下)

萬華王君之令堂。葬儀期日。及時刻。條及早發信。或廣告。俾一般周知。以便執紼(宗親會員建議)

臺中

防瘧地域

臺中州轄內。自昭和七年四月一日。至同八年三月三十一日。一年間。依瑪刺利亞防遏規則。將施行防遏方法。地名如左。臺中市旱溪。彰化郡芬園。南投郡草屯。双冬。土城。鄉親寮。龍眼林。新高郡集々。水社。司馬按。水裡坑。新年庄。茅埔。拔社埔。能高郡龜子頭。北山坑。竹山郡竹山。鹿谷庄。

三越好況

三越吳服店。一、二兩日假臺中公會堂。爲出張販賣。顧客殊形擁擠。購買者十中七八。係內地人婦人。本島人所購。金額概少。據按初日售賣額。不下五千金云。

入學試驗

私立臺南長老教中學校。入學試驗。對中部地方。入學志願者。經定來五六兩日。在臺中市施行。

氷價廉賣

臺中市上。諸製冰會社。協定販賣價格契約期間。屆三月末日既滿。自交四月。開始自由販賣。一貫僅售三四錢。但市內兩製冰會社。如大日本製冰。臺中製冰。產額最多。頗致意於協定。三月中。便對昨年締約諸冰會社。交涉仍協定。一中央製冰。亦從而和之。經數番折衝。尚未成議。然據一般觀察。不久即能達到協定目的。入盛夏期。恐無廉價之氷可賣云。

東石

戶稅調查

東石郡下各街庄役場。自四月一日起。調查昭和七年度戶稅資料。甚形忙碌。

畜產總會

東石郡東石庄畜產組合。訂來八日午前九時。假東石庄役場。開昭和七年度定期總會。

開餞別宴

東石郡朴子街朴子女公校長宮崎才治氏。在職凡十年。者番榮轉鹽水公學校長。去三日由古谷野。黃媽典諸氏發起。于午後六時。假朴子公會堂。開餞別宴。又多年在當地學校勤務之職員。有轉任他校及二三退職者。亦于同日在同一宴會場。受餞別云。

小說

磐城奇案(六)

保泰久離鄉里。頗興歸念。看見他姐々的信。更增鄉思。大著膽子。轉回家來。不用說。是不敢白日裡進村。趁且一定是先到他姐々家。且說保泰見了他姐々。悲喜交集。動問那事底細。青子把早晚探的事。訴了一番。姐兒道。這是『怎麼一回子事。直是個悶葫蘆』。保泰也不在姐々家住。趁著黃夜回到家裡。保泰進了院子。走到窗下。用指頭々彈那窗櫺。低聲道。『開門。我回來了』。方氏聽得是保泰聲音。便翻身下地。與開了門。笑盈々的。接保泰到炕上。乘上燈倒。要造飯。保泰道『飯已用過』。只是要早歇一歇。方氏便打了鋪蓋。撒過枕頭。吹滅了燈。便甜蜜々的。倒在一起。『久別勝新婚』。此間消息。自不必說。事畢。保泰問道。『可是我那件事。你怎弄的』方氏啐的一笑說。『打官司輸了』保泰說。『我不是問這事』方氏道『也沒有別事』保泰道『吳四那去了』方氏道。『我說你不生氣』。保泰道。『誰叫我久不在家』。方氏道。『你儘我說。去年八月十八那晚上。你和你的姐々來捉奸。你石保。說得多動心狠。推開窗子。下得地。我已經一刀就把吳四殺了』(未完)

人事

▲七星郡汐止街文通氏之女唐氏菜。一日受街役場囑託。在自宅開業產婆。

▲基隆市施錦芸。施世異氏等之令尊。訂來九日午前十時。於士林本宅執行翁之葬儀。故施世榮氏與兩會賓國年。許梓榮。簡朗山。保忠毅諸氏發起。將於是日在施家舉公祭式。

▲宜蘭街楊仁氏。四月一日。任該街役場書記。

▲朱俊英氏。去二十七日去世。訂本月來二十一日出殯。

▲新營郡鹽水街在鄉軍人分會長。鹽水班長士兵。街役場。青年團。警察官有志等發起。訂來九日午後六時半。在同街公會堂。映寫三勇士之影片。收益金全部。充臺灣出兵之慰問金。及三勇士弔慰金。同日晝間在同地公學校雨天體操場電寫。供兒童無料觀覽。

▲新營郡鹽水公學校長田里助氏。此回辭職。又同校教員異動轉出三名。轉入四名。去二日下午五時。在鹽水公會堂。爲諸氏盛開送迎會。席間賓主敘禮。盡歡至六時半散會。

▲嘉義警察署外勤監督部補減原三之助氏。今回轉勤虎尾郡警務課。保甲聯合會長及保甲聯合會長爲發起。招集市內警察。及保甲會同。於去四日午後七時。在宜春樓。開送別會。出席者二百餘名。

▲海山郡尖山公學校長原田萬大郎氏。今回轉任淡水郡。同校首席宗氏棟板橋公。陳氏琴補柑園公。村田氏充尖山公校長。去二日下午五時。由中有志。發起在公學校公會堂。開諸氏送迎宴。

▲宜蘭郡石井親學。轉勤于三峽公學校長。由橋宜蘭女子公學校長。轉任羅東女子公學校長。外男女教員。或辭職。或轉勤計十三名。爲宜蘭地方男女公校保護者會長。久保田校長等。主倡爲表惜別之意。去二日午後七時。在市內成興樓。開餞別宴。有父兄九十餘名加入。廣山郡守。小島街長。及本郡務課長等。多數臨席。會長陳金波氏。石井親學。高橋校長謝。至八時半盡歡而散會。

臺灣日日新報

新漢和大字典

最新刊

辭書選定に 今！迷ひ給ふな。

千萬言の宣傳も一の事實に及ばず

既に全國千二百餘校の指定字典たり。以て本書の眞價を知られよ！

文學博士 宇野哲人編

四六判 レザー裝極上製 堂々千九百頁の大卷

檢字、草字便覽、常用漢字便覽、音訓索引附

¥2.50 送料廿二錢

見よい 引きよい 解りよい 新漢和

これこそ我が社の誇り 低廉 最新 明快 絶對に他の追隨を許さざる

一番安い、一番新しい、一番鮮明な、即ち父兄の負擔最も輕く生徒の勞苦最も少い

昭和の時代に最適の新漢和大字典はこれ

これだけは必ず忘れずに備へ給へよ。執務、學習の座右に――

内容見本 御申込次第進呈いたします

東京市神田區神保町 大阪市西區阿波座下通 三省堂

全國書店にて實物に就き見られよ！

◆品切の節は直接弊社へ

動物の驚異

大好評の科學畫報叢書

- 第一篇 科學文明の驚異 二十五版發行
- 第二篇 山岳の驚異 二十版發行
- 第三篇 海の驚異 二十版發行
- 第四篇 昆虫の驚異 十八版發行
- 第五篇 顯微鏡下の驚異 十五版發行
- 第六篇 電氣の驚異 十八版發行

東京市神田區錦町一ノ一〇 振替東京四三二四〇番 新光社

全動物界の秘密は開かれた

寫眞を中心に樂に讀まれて誰にも分かる在來の型を破つた動物書!! 讀んで面白く見ても興味ある此獨特の編輯振りを見よ！前景氣甚大！

科學畫報叢書 第七篇

其形態から其習性、動物の世界程千姿萬態吾人の興味を唆るものはない。本書は弊社が絶大の努力と多年の日子を費し蒐集した無慮二百の動物生態寫眞を中心に、全動物界の驚異的事實と其隱れたる秘密を闡明せんとするもので、執筆者は何れも動物學界の權威者、而かも記述は平易で、何人が讀んでも面白く又一々の寫眞は緊張獨特の印刷方法により鮮明無比を極め、親しくそれぞれの動物を眼前に見るが如く、かくまでに多數の寫眞を集めて、かくまでに興味多く說いた動物書は、本書の外には絶對にない事を確信する。敢へて大方の必讀を薦む。

目次概要

執筆者

體裁と定價

内容見本 ハガキで申込み次第進呈

萬年筆用 ライト・インキ

全世界インキ王國の王座を占むるもの!!

本舖 東京 篠崎インキ製造株式會社

ライオン かとり線香 渦卷形、巴形、釣鐘形

どりこの

三都の優秀品を網羅

タイニチ運動用品部 臺北

ヤセタ人すぐ試よ ふとる薬

伊豆椿チック 百%インテリの美髮料

第二十四回營業報告 桃園軌道株式會社

ダンタンは風の妙藥

發賣元 臺北 信生堂藥房

代理店 大阪 大木合名會社

廣告は宣傳の近道なり

御會葬御禮 山下作兵衛

廢物利用で愛國運動

支那事變 負傷戰士を劳りませう！

滿洲や上海で御國の爲め名譽の負傷を受けた戰士を心から劳りませう

―方法―

森永ミルクキヤラメル（大十錢・小五錢）の外函
森永ミルクチヨコレート（大十錢・小五錢）の外裝紙を最寄りの本合投入函にお入れ下さい

集つた外函・外裝紙は大一厘・小一厘の割合で森永が買受け、その美しいお金は全部負傷戰士に捧げるため陸海軍省に献納します

投入函は全國の加盟新聞社や菓子店其他便宜の處にあります

★森永ミルクキヤラメル・ミルクチヨコレート 大小一ケ月生産高壹千五百萬個 全部回收されるとその献納金貳萬貳千五百圓！

主催 負傷軍人後援會

後援 全國加盟新聞社 森永製菓株式會社

篤米買占の無謀を戒む 外米の輸入を許すが宜しい

在滿洲部隊の交代
第八、第十兩師團を派遣
五日御裁可を得て發令

【東京五日發電通】陸軍省發表、滿洲派遣朝鮮部隊は現下北滿に於ける兵匪討伐並に南滿各地治安維持の必要に鑑みその一部は猶暫く駐滿せしめらるるも該部隊本來の任務上今回第二十師團司令部及び混成第三十九旅團を夫々駐地に歸還せしめられ之が交代並に在滿部隊の警備地域の廣大に伴ふ指揮機關の必要上第八(弘前)第十(姫路)兩師團の殘部及び若干の特科部隊を滿洲に派遣せらるることとなり本日上奏御裁可の上發令せられたり

今月中旬出發

【東京五日發電通】朝鮮よりの派遣部隊と交代のため出動する第八、第十兩師團の出發日取は左の通りである
第八師團は本月中旬○○より乘船、歩兵第十六旅團本月中旬○○より乘船、第十師團本月中旬○○より乘船

統帥指揮を便ならしめる爲
陸軍當局で聲明

【東京五日發電通】滿洲派遣部隊の編制整理について五日陸軍當局は左の如く語る

支那側が讓歩せねば七日に交渉は決裂
陸軍、外務兩省打合せの上 强硬なる意思表示

【東京五日發電通】五日午前田代派遣軍參謀長より陸軍中央部に對し四日までの停戰會議の經緯に付き詳細なる報告をなしたる上支那側は依然として撤兵區域内に支那警察を入るることを得ず、又撤退完了時期の明示に就ても飽まで頑强に主張しつつあり之に對し英國公使の調停的提言あるも軍としては既に示したる所より一歩も引けず、最早段に至つては支那側が我主張を容れざる限り決裂の外ないと決心したとの最後の請訓的極めて强硬な報告があり、依つて陸軍中央部は外務當局と打合せの結果、撤兵區域に付き之以上讓歩は絶對不可能で、撤兵時期は上海の治安維持が先決問題なる故、時期の明示は出來ぬと云ふ理由にて、今後の問題は一に支那側の態度にあり、我主張を容れざる時は決裂を見るも差支へなしとの强硬なる意思表示をなし、支那側が讓歩しない限り七日の本會議をもつて交渉決裂を見やう

交渉決裂後の處置を協議
わが陸軍中央部で

【東京五日發電通】上海に於ける停戰交渉は愈々決裂の瀬際にあり我陸軍中央部では停戰交渉決裂せば我派遣軍としては出動範圍に就き、上海方面の治安が確保されるまで駐留するは勿論、その時我軍が如何なる線を占據するかは問題である、然し交渉で示して來た撤收線は支那側が誠意を以つて撤收に當る場合に於てのみ可能なる線で、決裂後の撤收線は……

調査委員一行 五日夜南京へ

【漢口五日發電通】リットン卿以下の國際調査委員一行は今夜十時漢口發南京に下航する豫定である

今後對日行動は正規軍だけで
蔣介石布告を發す

【南京五日發電通】國民政府は本日「國民は自發的に義勇軍又は之と類似の軍隊を組織すべからず、對日軍事行動は今後は凡て正規軍をもつて當す」との布告を發した

定例閣議
對滿金融問題と間島問題報告

【東京五日發電通】五日の定例閣議は午前十時首相官邸に開會、高橋藏相より滿洲國に對する金融問題を報告したる後、荒木陸相より上海、滿洲の狀況に關し報告し、荒木陸相は間島方面の狀況及び朝鮮軍の行動並にロシアが同方面に兵力を集中しつつあるとの情報を報告し正午散會した

宗教局長更迭

【東京五日發電通】文部省宗教局長の更迭五日の閣議で左の如く決定した

財界對策 特別委員會
政友會で設置

今日の訪問は單に挨拶の爲
首相と會見後 江口滿鐵副總裁語る

【東京五日發電通】江口滿鐵副總裁は五日午後二時官邸に犬養首相を訪問會談する所あつたが右は辭意表明のための來訪と見られてゐる

【東京五日發電通】江口滿鐵副總裁は犬養首相と會見後官邸に於て左の如く語る
今日首相を訪問したのは今度上京して以來初めてのことだしかねがね會談してゐる人だし挨拶かたがた訪問したもので、自分の考へてゐることや滿鐵の事業計畫等を話したところ總理も上機嫌で話をされた、其他には何も具體的な話はなかつた今日の會見は別段の意味のあるものではない

いよいよ辭任か
總裁後任は山本(条)氏

簡易保險問題 大體の諒解
大藏遞信兩當局が

菱刈、南兩大將 特命檢閲使
けふ正式に任命

大將 南次郎
第二特命檢閲使被仰付

英佛會議で コムミユニケ發表

【ロンドン四日發電通】

ユ國後任首相

【ベルグラード四日發電通】ユーゴースラビア國首相チヴコヴイツチ將軍は同國憲法成れるを理由に辭職し後任はマリンコヴイツチ博士と決定した

滿鐵の正副總裁

收入の激減で首も廻らぬ國府
此頃は財源發見に沒頭

【南京四日發本社特電】國民政府の財政狀態は今や非常なる窮境以上で最近は首も廻らぬ狀況に陷つてゐる、日支紛爭以來財政部の收入は一ケ月八百萬元に激減し、二月中の國庫收入の實收だけで四百萬元に止つてゐる、三月中の支出額は約二千萬元、行政費一千二百萬元、赤字一千四百萬元

在比華僑一 暴力を取締られ
新聞で得意の逆宣傳
ヨタと誣日で毎日號外發行

マニラ本社通信員 磯海生

(二)

新事態

方向を

新政策研究
民政黨では政經兩部を設定

米大統領が特別教書
四日議會に送る

今川知事 烏山頭視察

新竹中學校長 荻阪氏に決定

高雄三月中の內地移出米

出來るだけ精出す
荻阪校長談

シナチク

督府追加豫算は緊急以外は見合せ
大藏省が强硬な爲め

滿洲國融資は鮮銀經由に決定
利率年五分期限五ケ年

東株長期取引上場株式時價總額

ロータリー週例會

嘉義で披露宴

廉賣の尖端 藤井のメチャメチャく値
最新の單帶 半額
小供服 半額
モス着尺 半額
東京浴衣地 半額
柳行李 大島 二圓九十錢
內地綿 一圓八十五錢
絹綿 四圓八十錢
小供服地 三十錢
藤井の奉仕石鹼 十ケ三十八錢 均一
ノーブル足袋
つはりの妙藥あり
藤井吳服店 臺北京町 電話

寫眞は第十六回全島實業大會における各地議案說明者及遞信局長（中央右）今川臺南州知事（中央左）

屏東聯隊の手で 內臺連絡飛行

充分の確信がついた…と 後藤聯隊長語る

【屏東電話】內臺連絡飛行演習訓練で沖繩縣へ出張四日歸隊した後藤聯隊長は語る
內臺連絡飛行は充分行はれる見込がある唯實行には相當莫大な經費を要するのでこの方が先決問題であるが何とか期間にゆくだらう、使用機は勿論現在の八八式では不完全であり相當考慮すべき多くのものがあるが幸ひ沖繩の那覇に飛行場としての適地がありこれを中心に各島にも離着陸地があり同地には三十年以上石垣島にあつて氣象の研究に老練な官吏が任居してゐるので何かと參考資料を仰ぐ心算だつたが北比は要期日であつたので充分な機會がなかつた

藥を間違へて 心中の仕損じ

遺書で騷がせた藝者とお客 夫々連れ戾さる

【臺中電話】大甲郡王田ゴルフリンク附近で心中するとの遺書を自家や抱主へ送付して興際させた上田某と芸妓の林之助は沙鹿の本島人漢藥店の二階で亞砒酸を飮んで心中を企てたが呑んだ劑が亞砒酸でなかつたので助かり四日夕刻は自家へ林之助は抱へ主の元に自動車でつれ戾された

嘉義に開いた實業大會雜觀（第二日）

第一日の委員會に濟與し遺された議案は前回の決議事項として其の復活を要求すべきものに編入れられた數九項、並に合併されたもの一項合計本會議に附せらるべきものは實に十六項に臟略された（ママ）慎重な意味で保留さるべきものや[illegible]ら合併すべき性質のものを求めた[illegible]ら觀念からそこには矢張相當政策的な意味も含まれねばなるまい

◇

午前九時十分開會、小西老議長の莊嚴な面構えが眼鏡越しに議席を睥下す大會開催の抜步に始まつて嘉義古賀三千人氏の前回の大會における決議事項諸願の要望報告は何じヶ所を二度も三度も繰返してやる所謂何如何に迂々たりしは萬へ開會早々たる眠氣ざましの想あるを思せる、出席者約二百名、半幾もはいらぬ內に議事は辛うじて順調に復す

◇

實業大會決議事項の要望諸願、昨數は取り擴つて十項、最初の說明を求つて登壇する宜蘭砂田氏は卓を叩いては悲憤慷慨氣天を衝く勢でまくし立てた所謂ましかりける次第と見られ疾つぼくなつたその通室も稍々陪薄ひの感あらしめ

◇

遊廓稅撤廢案は營業稅法改正とカクテルされて地元富山氏の說明高雄高木氏の贊成意見中に亡八なる語を說明して女入りもしい世界振りを示し之に代るに營業稅を以てしては如何と大見得を切り宜蘭賞井崎氏より時間稅その撤廢を要求するのは反對だと述べ、高雄中村氏は原則として委員會を通過したものは北陽可決する事となつて居るので採否は當局の御裁斷に任せ可決したいと穩健說を出し可決しかくて午後零時五分議事一切を終了した

◇

議事終了後次回開催地を基隆と定め本官動田研究局長の祝辭といふよりも寧ろ講演ともいふべき商工業問題に關聯し本島の糖業、石炭、石油、金銅鑛その他の各方面に亙り約四十分間の影響な意見があつて續く今川知事、松岡市尹の祝辭に依り午後一時十五分盛にめでたく第十六回の實業大會を申送る事が出來た

嘉義市立 商工專修學校 認可さる

【嘉義電話】嘉義市立商工補習學校の名稱變更は三月三十一日附指令を以つて州當局より認可されたので四月一日より嘉義商工專修學校と稱呼する事になつた

詠歌を流して 淨財獻金

基隆市森田ユキ、湖谷サキ、中山タメヨ、田村ハツ、杉尾ミサオの五女は飛行機獻金募集詠歌隊を組織し去る二月二十八日より三月二十日まで連日市內を巡話したる結果百一圓八十二錢の寄贈金を得たので三月末石獻金手續方を基隆愛國分會に申出たと

東臺灣漫感（三）

—鈴木（幸）生—

郡役所公堂に稻山宜蘭郡守を訪うた。—同行は大津一郞君、本社宜蘭通信員張振茂君、その初印象……

×　×

羅東郡守を四年以上も勤め上げ宜蘭の太守たること既に二年餘に及んでゐる橫山氏だ。郡、街を通じて好評嘖々—それもその筈、會つての感じが實に和ごやかで情味と滋味がある。第一者元來の野人、禮を弁へぬ上に除り口が良くない。で、聞いて見た。

「近頃異動が激しいやうですがこちらは大分首の據はりが好さそうですね……」

郡守も、さるものだ。

「アハハ。いや泰然として腰を抜かしてゐるのさ」

居すかしにサラリと受け流して置いて、さて本題に……なつたら、拔け目がない、滔々と郡下の事業大勢を說き出した。

「蘭陽の開發は先づ以つて交通の整備にあるので、三百萬圓の巨費を投じて宜蘭、臺北間の縱貫自動車道路を開設する事になつてゐる。之が完成すれば臺北宜蘭間十九里の間を三時間で通ふ事が出來るから非常に便利になる譯だ。もう一つの問題は、濁水溪の木橋架設だが、之は豫算の關係で直ちに實現出來ないから取敢ず三百間の木橋を一萬八千圓の經費で假設する事となつたが、之れは本年六月中には竣成する。

×　×

「次は水道敷設だが……之れは後でゆつくり御案內する事にしませう。何にしろ、宜蘭としての自慢の一つだから……」

と、聞き付きの自慢だ。

「どうも、宜蘭の街は體裁の通り綺麗でないからね。是非市區改正をしなければならない。同時に近郊の發展策を講じ、水源地、宜蘭神社を中心に一大遊園地を作り、員山溫泉を改築して諸君が來られたら心持の好い土地にしたいと思つてゐる」と抑々一貫しての抱負だ。

「それでは一つ、御案內しませう」

と、郡守の車で水源地から員山溫泉へと見學に出かけた。—一行には宜蘭街助役と水道課の技術員が加つた。

×　×

臨機自動車で、それから案車で或は徒步で、春の蘭陽平野のオゾンを滿喫した（この項續く）

それから蘭陽の將來、養豚事業の改良、甘蔗栽培の改良獎勵問題や、溫州蜜柑が蘭陽に適してゐる事や、ポンカンの栽培が有利な事や、蘭陽に一つの女學校もないのは、他に比較しても遺憾である事や、郡守の話は諄々として盡きない。で、汽時を見て腰を上げると。

緣故深い臺南へ 喜多氏來臺

臺南での歡迎日程決定

【臺南電話】元臺南州知事喜多孝治氏は今選の榮擧を得て九日午前七時五分臺南驛着列車で緣故の深い古巢臺南を訪れるが迎る臺南では四日民間有志市役所に參集して歡迎會その他打合せの上滯在中の日割は左の通り決定した

△九日午前中驛頭より直ちに知事官邸に入り少憩後臺南神社參拜及び市內各所拔步廻り、正午同氏後援會員招待午餐會（公會堂）午後二時記者團招待茶話會（鐵生館）同四時喜多氏講演會（公會堂）同六時知事の招待宴

△十日午前中市內視察、正午知事の招待午餐（官邸）午後四時官民歡迎會（會費二圓公會堂）同六時半より七時迄ラヂオ放送、同七時打吉歡迎會（會費七圓）

△十一日午前九時五分臺南驛出發臺北へ

床しい…… ナッパ服の男

同情金を差出し所も 名も云はずに

【高雄電話】四日午後六時頃高雄市旗後町派出所に年齡三十五六位の船員風の男が出頭して小紙包の記事によつて高雄市の出征軍人平山政市君の家族の窮狀を知りたとて金五圓入りの封筒を差出したまゝ住所姓名も名乘らず立去つたので派出所では早速その手續をとつた

自殺を企て 走つた福丸

屏東の騷ぎ

屏東市料理店井筒方抱藝妓福丸（二〇）が突然姿を消したので例の自殺ではないかと騷がれ各所を探すと本人は高雄の親戚に下宿して居たもので事ふ情人とも云へ明かになんと臺南まで無の通行と云ふのんびりしてたものと判つたが、客商で男から因果を含められたか今迄屏東へも顏れず高雄の某所で人を賴んで荷物の受取や三百圓の入金其他月賦の交渉中とか

臺中高女入學式

【臺中電話】臺中高等女學校では五日午前八時から新入女生徒百名の入學式を行つた

嘉義で擧げられた 內地人の賭博

一網打盡にさる

【嘉義電話】四日午後四時十分頃嘉義市西門町五ノ六六山田時次郎方にて東京府北豐島郡日暮里金杉一六三四桶田傳吉（三）京都府南桑田郡千歲村字國分一〇小川茂（三）神戶市林本町九二淺野秀子（三）愛媛縣名田郡南井上村宇池尻二四二松島林次郎（三）の四名が花札を用ひ賭博開帳中所轄派出所の警官に踏込まれ一網打盡に檢擧され署の表聖司法係で取調べ中

臺中州知事の 事務聽取

【臺中電話】竹下臺中州知事は近日官邸において州廳內各部の事務を聽取中であるが五日以後の日割は

五日　勸業課、地方課、水利課

六日　敎育課、土木課

七日　警務部、高等課、保安課

八日　刑事課、衞生課、理蕃課

であると

落成した魚池郵便局……日月潭工事のために設置されたとも言ふべき同局は先蒐の埔里や集集局そこのけのモダン建築で異彩を放つてゐる

臺灣を代表する 新民謠の歌詞募集

當選民謠は全國的に宣傳紹介

臺灣の鄕土藝術として全國的に誇り且つ宣傳され得るやうな代表的民謠歌詞を募る、本社は日本ビクター會社と提携し右の當選歌詞を作曲の上レコードに吹き込み臺灣の民謠として汎く天下に紹介する手筈である、この民謠は臺灣の人情、風俗、歷史、名所舊跡に地方色の濃厚な點を表現し名實ともに臺灣を代表するものでなくてはならぬ、鄕土愛の立場より多數人士の御參加を希望する

臺灣に於ける選者（主として豫選）

臺北帝國大學敎授安藤正次氏△同上矢野峰人氏△文敎局編修課長[illegible]大治氏

中央に於ける選者

野口雨情氏、町田嘉章氏、西條八十氏、中山晉平氏、長田幹彥氏、[illegible]清水氏、光本[illegible]

賞品

一等（一名）　蓄音器一臺（定價八十五圓）レコード十二枚（約三十四圓）外に當選歌レコード一枚

二等（二名）　蓄音器一臺（定價八十四圓）レコード十二枚（約三十四圓）外に當選歌レコード一枚

三等（一名）　レコード十二枚（約三十四圓）外に當選歌レコード一枚

佳作（五名）　レコード六枚（流行歌、當選アルバム入）何れも蓄音器及レコードはビクターにて選擇は自由選擇に任す

規定

右の外日本ビクター賞（一名）として金五百圓及金牌が贈られる、之は日本各地方より全國的に募集した民謠中、最優秀なる歌詞として選定されたものに贈る筈で、本社では此の賞金を臺灣で獲得する程の傑作の現はるゝを熱望してゐる

一、歌詞、半、節調に別に制限はないが臺灣代表民謠の趣旨を閑却にして欲しい、尙其の民謠を全國的に普及させる爲め歌詞はなるべく普遍的とする事を可とす、即ち餘り名所とか其土地の特色にのみこだはる時は範圍は狹くなり其土地の人だけに歌はるゝこととなり全國的とならない　二、應募は一人一篇　三、當選歌の版權は本社に屬す　四、投稿宛名は臺北市榮町臺灣日日新報社內代表民謠募集係

締切　四月十日　**發表**　四月下旬

主催　臺灣日日新報社

高雄州の 乞食收容所

下旬工事に着手

【高雄電話】高雄州の社會事業として高雄感化院內に新設さるゝ事となつた乞食收容所は本月十日頃から工事に着手六月頃竣功と同時に州下の乞食約五十名を收容する豫定である

押賣退治の案

【臺中電話】臺中警察署では押し賣物賣ひ等を防止するため五日市內にこれが撲滅ビラ數千枚を撒布したが市民中右様のものが來た折には直に臺中署又は最寄の派出所に屆け出られたいと

蘇澳の水揚高

四十九萬一千圓に上る

前年より稍良かつた

【宜蘭電話】蘇澳漁港における各漁業の內西村氏鰹の山下鮪は之迄に既に十萬圓の水揚あり又滴々內地から來てゐる林兼も略同樣の成績であるので右兩者の鰹漁だけでも約二十萬圓の水揚げ高である次に旗魚漁は最近南風が吹く影響で突棒の方は殆ど休業狀態にあるが鰹旗魚の延繩漁の方は一日平均四千圓の水揚高である尙三月の會計年度による漁獲見積高は四十五萬圓の所實收高四十九萬一千圓で四萬二千圓の超過であり卽ち本年度に於ける蘇澳漁港は一見順調の觀あれど一昨年頃の實收六十萬圓高に比べて甚だ不況の狀態と見られてゐる

馬公の元藝者 毒を呷る

複雜な事情があるらし

【馬公特電五日發】本島地澎湖島出水郡出水町俗名脇山イセ（三）は元馬公券番の藝妓を働き[illegible]業馬公街に居を構へ他住居をなしてゐたが複雜な事情に惱み續けてゐたが昨四日午後一時頃クレゾール多量を嚥下して自殺をはかり苦悶中を隣人に發見され直に澎湖醫院に擔ぎ込み手當を受けてゐるが一時は絕望視されてゐた容態も四日夜頃から漸次快方に赴きこの分なれば命は取止めるであらうと見られてゐる

綠川から拾はれた 疑問の合財袋

軍隊手帳や家財類が在中 本人の行方搜査中

【臺中電話】數日前の事綠川上流臺中公會堂裏手の川中に茶褐色の手提カバンと和服洋服其他用のニユームの鍋電氣コンロ帽子風呂敷等各種のものの入つた合財袋が捨ててあつたとて臺中署に屆け出たものあり中を調べて見ると宮崎縣都城生れにして昭和二年十月二十五日臺灣南部步兵第二聯隊に入營し上等兵と進んだ中村重雄の軍隊手帳の外に、島田某聯隊の兒島幸之助の名刺十數枚が入つてあつたので、臺中署刑事課ではそれを手掛かりに遺失主を搜査中であるが、中村重雄は友人である前記兒島を去る三月十日に島日の聯隊に訪ね三日間滯在臺北迄の汽車賃がないからとて同人から三圓を借用して出立したまま行方不明であるので兩人が軍隊手帳を他人にとられたものか又は悲觀の餘或は綠川の中で死亡してゐはすまいかとて搜査中である

臺車に 轢倒さる

老婆の怪我

【嘉義電話】四日午前十時半嘉義郡番路庄番路二二六番地臺車會社經營の臺車が通行中の同郡番路庄番路陳金花の妻陳歐氏綢（六八）を轢き倒し足部に治療二週間を要する負傷を負はせたので派出所より警官急行應急手當をとげ臺車苦力を取調べ中である

水上庄堆肥品評會

【嘉義電話】嘉義郡水上庄昭和六年度堆肥品評會褒賞授與式は來る九日午前十時より水上公學校講堂にて舉行すると

澎湖便り

▲林軍醫轉勤　澎湖衞成病院に五年間勤務し內外に非常の信望を得て居た林軍醫は今回臺北一聯隊に榮轉し四月三日の軍部船に地

基隆夜話

▲氏は佐賀出身で[illegible]生れ明治三十六年東京高師英文科卒業、愛媛、山梨、福岡、沖繩[illegible]の師範學校の各中學校に教鞭を執り大正十年臺中商業の首席教諭となつて渡臺、翌年新竹中學設立と共に校長として赴任今日まで正に十年一日の如く中學に盡して來られた　▲基隆中學三年一氏はまた和[illegible]に至つたのは本望であらう

▲本年入學試驗　本年度基隆中學校の入學試驗は臺北高女へ合格し[illegible]とは珍しくピンポン熱漸く盛んとなり各所で面白く行はれて居るが四月二日午後三時から[illegible]式會社のピンポン試合、近時馬公にて[illegible]

▲郵便事務の改善　基隆局長今村氏が着任以來更に一段と郵便事務の改善を決行し一般利便を圖る可く局員協力して研究中であつたが先づ官廳時間の延長、市內ポストの增加をなし漸次改善の途上に驀進する筈である

▲風紀問題　[illegible]

新竹風塵

▲大正十一年新竹中學開校以來の長たる大木俊九郎氏は愈々勇退した、獨り同校の爲に惜しむべきのみならず、臺灣教育界から同氏を失ふことは惜い同氏は高潔な人格と卓拔な識見とを以て、よく校風を振興し、學事を併顧し、一校翕然として徳に服ひ、師弟の情誼も殆ど骨肉に勝るものがある。今回の退職は一般の人々に惜まれる

▲新竹市民總員の間に[illegible]

魚池雜音

▲魚池に過ぎたるもの三つあり、と、一、郵便局、二、電氣、三、三十分毎に何時ものもと郵便局は去る三日落成式舉行、埔里、魚池の數少い魚池の郵便局は鐵筋の美しさに平原に[illegible]居の支店で內容は綺麗だ▲三十分毎に[illegible]が通り過ぎる、三上分毎に住は前の工事住在に引代へ流は嬉しい

▲魚池、司馬按間の自動車が廢止となり、この間の林通氏が開業したもの

金山

金山と云へば基隆郡下の金山庄に有名な小唄「金山小唄」がかできた金山庄役場用紙合地事務台南州氏の作詞で「金山小唄」の節であると

一、湯治するなら金山にしやんせみどりの山に紺ぺきの海、別府に劣らぬよいところ

二、日の出月の出見やしや水尾松はみどりに砂白く、前を眺めりや眞帆片帆

三、礦溪の神でどんと打つ波に、月昇前へあの燈臺が、夏もかもめの聲がとぶ

四、雨夜星の夜いづれとないが、沖ちや漁火波にゆら〳〵、イルミネーションかな夢心地

五、遠々し氣高しあの竹子山、赤い躑躅が花咲きそめりや、若い生命の血も躍る

取消申込

三月二十八日付本紙掲載の大喧嘩なる見出しの下に報じた嘉義稅務出張所張萬と留吉云々の如くあるは事實相違の旨本人より取消申込あり

人事

▲山下花蓮港廳勤務課長　同管內の所六日歸廳

▲兒玉臺東廳長五日花蓮港を經て臺東へ【花蓮港電話】

ラヂオ欄

今日の番組 J・F・A・K 四月六日(水)

午前の部

【六・三〇】朝の體操(臺北)△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ(臺北測候所發表)
【八・〇〇】△今朝の氣象通報(東京)
【九・三〇】△家庭百科問答(臺北)△夢を見て苦しくてなりません
【一〇・〇〇】△今日の家庭料理 献立(臺北)△ポーク・コロッケ△鯖のトマト・ケチャップ
【一二・〇〇】日用品小賣相場(臺北市公設西門市場發表)
【一二・五九】正午の時報(臺北)氣象通報(臺北測候所發表)

午後の部

【〇・〇一】放送局掲示ニュース
【〇・二〇】臺同娛樂時間(レコード演奏)[illegible]

夜間演藝

【五・〇〇】子供の時間(東京)コドモのテキスト十ページ 海軍大佐加藤尚雄
【五・三〇】九州民族講座(熊本)
【六・〇〇】子供の時間(臺北)童話「鍛冶屋の腰掛」河野一
【六・三〇】講演(東京)未定 工學博士平賀讓
【七・〇〇】[illegible](東京)未定
【七・三〇】落語(東京)未定
【八・〇〇】和洋合奏(東京)△軍歌集「守れ滿洲」△長唄集「元祿花見踊」△接續曲「踊れや唄へ」(日蓄オーケストラ、吹物梅屋福社中、指揮田中豐明)
【八・三〇】奉天より(奉天放送局)
【八・四〇】管絃樂(臺北)一、ハンガリー喜劇への序曲(ケラーベラ作曲)二、花の唄(ランゲ作曲)三、歌劇ウインザーの陽氣な夫人達序曲(ニコライ作曲)四、行進曲ローマ力士の入場(フシック作曲)JFAK管絃樂團 指揮一條愼三郎
【九・二〇】時報、氣象通報漁業氣象(臺北測候所發表)及び今日のニュース、放送局掲示ニュース、公示事項、明日のプログラム發表

東京よりの中繼放送

コドモのテキスト第十ページ
加藤海軍中佐が飛行機のお話
―これからの日本國民は飛行機の知識が必要―
【午後五時】

今から二十八年ばかり前、はじめて米國のライト兄弟が飛行機といふものを發明して[illegible]どの滿洲事變や上海事件に陸海軍の飛行機が如何に目覺ましく働いたかは、また皆さんの記憶に新しい事柄の一つとして殘つてゐる事でせう。今晩加藤中佐は陸軍や海軍に於ける飛行機の活躍や、飛行機の種類や、その役目などについて話されます

寫眞は内臺連絡飛行に成功した、白鳩號(上)雲雀號(下)

講演 【午後六時三十分】
工學博士 平賀讓

日本帝國の海軍が世界に冠たる威容を示してゐるのは、その優秀なる軍艦であり、陸奧、長門の艦は勿論のこと、世界から恐れられてゐるのは巡洋艦である。一萬噸巡洋艦は今世界の驚異の的であつて、この點でも日本が誇りとしてゐるか、此の誇るべき軍艦を完成したのは實に今日講演される平賀博士である。同博士は海軍造船中將としてまた海軍技術研究所長として、所謂「古鷹」級巡洋艦を完成して世界を驚かした人である。古鷹は一萬噸級巡洋艦の先驅をなしたもので僅か七千五百噸の艦でありながら八吋砲を六門も搭載し、しかも速力は三十三節と云ふ驚くべき威力を發揮せしめたことは外國でも最初信じ得なかつた程である。七千噸級には八吋砲は搭載し得ずとの理論を完全に打ち破つて七千噸級でありながら優に外國の一萬噸級と對抗し得るものを作つたのは平賀博士である。なほ艦側の線を直線にせず優秀性のために曲線を用ゐ、艦尖は直立でなく彎曲せしめた點など獨創的な日本獨特の艦型を創造した人である、此の講演は東京からの中繼である

臺北、子供の時間【午後六時】

童話 鍛冶屋の腰掛
―不思議な腰掛のお話―
旭小學校 河野一先生

今日のお子さん達のお時間は童話です。今日お話し下さる河野一先生は臺北の旭小學校の先生で、また若いやさしい先生です。本當にみなさん方と一しよに遊ぶまじへてお菓子でもたべながらお話し下さる樣に面白いお話をして下さいます。今日のお話は詩壇でも有名な大木惇夫先生の創作されたお話で、神様が天上から降りて來られて鍛冶屋にお會ひになるのです。そこで神様がこの鍛冶屋の親切な鍛冶屋にお會ひになるので、その親切な心で、鍛冶屋さんの三つの望みをかなへておやりになります。その三つの望みの中に、坐つたら立てない腰掛、そこに入つて來たのが「死」です。それで早速その死をとりこにして了ふのです、さてそれからどうなるかは放送の時に聞いて下さい

後この位がの年月の間に、今日では水上は勿論、商業用にも、スポーツの方面にも盛んに利用されてゐますし、その發達も驚く程の勢で進んでゐますが、まだ〳〵これからどんな發達をするかわかりません。飛行機や飛行船のことを少しでも知つておくことは極めて大切なことであります。殊にこん

管絃樂【午後八時四十分】
JFAK管絃樂團
指揮 一條愼三郎

一、「ハンガリー喜劇への序曲」(ケラー・ベラ作曲)
二、花の唄(ランゲ作曲)
三、歌劇「ウインザーの陽氣な夫人達」序曲(ニコライ作曲)
四、行進曲「ローマ力士の入場」(フシック作曲)

今晩當局が放送される一條愼三郎氏の指揮するJFAK管絃樂團の演奏である。一條愼三郎氏の指揮の下に放送局もこの團體の維持には相當大きな犠牲を拂つてゐるが、より上達を圖し團體たらしめやうと一條氏も並々ならぬ苦心を拂つてゐる。昨今は此の日の曲目は樂聖ハイドンの交響曲第十一番「軍隊」を放送することに決定して練習を既に三月のうちから始めてゐたのであつたが、內地では日本放送交響樂團によつて更して放送された。で、急に曲目を變更して前述の通りの曲目となつたのである。一條氏は非常に残念がつてゐた。第一の曲目はハンガリーの誇る作曲家ケラー・ベラの代表的作品で我國に於ては吹奏樂の軍樂隊によつて常に演奏されてファンには極めて親しみのあるポピュラーな曲である。第二は、多分ファンはヴァイオリン獨奏又はピアノ獨奏で既に親しいものと思ふ。早春のうき立つ中に咲く可憐な花に寄せた小曲であるが、その美しい旋律は何れの人にも愛好されて常に演奏される曲である。これを弦樂よりなほ華やかに管弦樂用に編曲したものである。第三は獨逸の有数な作曲家カール・オットー・ニコライの代表的傑作の歌劇「ウインザーの陽氣な夫人達」の序曲である。ニコライは(一八一〇―一八四九)は幼時から困苦と貧苦の中に悶闘の反對にもかかはらず遂に音樂家として立ちウイーンやベルリンの歌劇場の第一ヴァイオリンとして働いてゐる中で幾多の作曲をなし

花の春の夜いとにぎやかに
△和洋合奏▽(午後八時)

軍歌集「守れ滿洲」 日蓄オーケストラ
長唄集「元祿花見踊」 吹物梅屋福社中
接續曲「踊れや唄へ」 指揮 田中豐明

花七夜の第六日の終りの演奏は騒々しき和洋合奏である。演奏するのは日蓄オーケストラ、指揮が田中豐明氏と來れば申し分ないなほ此の上に梅屋福社中の鳴り物が入るのだから少し賑やかなものだ。田中豐明氏は例の島田東寄樂隊の楽長をしてゐた人、大正十四年に[illegible]になつた時は、今夜如何なる方面に紹介されるか各方面から注目されてゐた[illegible]田中[illegible]指揮者となつて和洋合奏の編曲及指揮の方に新たな腕を揮ひ出されて島田晴譽氏指揮の松竹管絃樂隊と對抗し、和洋合奏界の雙璧となつたのである。今日の曲目は總て田中氏得意のものばかり、和事出だけに最初の軍歌などに勿論のこと[illegible]

今日の家庭百科問答
【午前九時三十分】
▲夢を見て苦しくてなりません

今日の家庭百科問答のお時間は右の御質問にお答へいたします。樂しい夢もありませうが、夢は一晩餘り感心したものではありません。夢も見ずに、ぐつすり熟睡出來たらどんなに、さわやかな又朗かな朝を迎へることが出來るでせう

臺同娛樂時間【午後零時二十分】

「北滿嵐」 櫻田旭穂
▽琵前琵琶

【歌詞】頃は昭和六年霜月十七日、本庄將軍の麾下にある、多門師團の右翼隊、步兵第三十聯隊は、嫩江河畔の激戰後、息つく暇もなく、敵を追うてぞ進軍す、後方勤務に從ひし、水口主計の一隊は、洮昂線の一部落、昂昂溪站に集積せる彈藥糧秣を本隊に、配給せんとあせれども、人家稀なる四邊には檢送機關は絕無にて、施す術もあらし吹く……(以下略)

時局ものです。戰死兵にあらざる肚なる壯烈を稱するもの、關東軍司令部附の陸軍步兵少佐田中三氏の作詞によるものです。琵琶の戰鬪、法悦山野田旭穂さんの自ら深く研究した[illegible]で、臺北放送局から放送した[illegible]

「雪の進軍」 永井建子

發管界で稀異的天才として數名を揭はれてゐる永井建子さんの軍歌です。永田氏の師の作曲まだ僅か二十歳のうち若い文士で一す。曲は明治三十五年八甲田山の悲劇をうたつたものです。

【歌詞】八甲田風吹き荒れて、見渡す限り雪もなき、山また山の雪ぶかく風は身を切るばかりなり、明治三十餘り五年の、はつ月すゑの東雲に、步兵第五の一大隊、喇叭の聲も勇ましく、田代を指してぞ進みける……(以下略)

たけれども、まだ上演の機は此の無名の作家に惠まれず、然し一八四九の五月九日遂に上演となつたが惜や彼は病床にあり、翌々月の十一日に三十九歳で他界したのである。今も此の序曲は盛んに管樂會のプログラムの中に加へられてゐる。最後は極めて調子のいい愉快な行進曲である

料理献立【午前十時】

う。此のお答へは、常に此の時間で臺北市方面のお答へを、興味深く親切にお答へ下さる臺北病院の藤士山崎先生のお答へを申し上げます

▲ポーク・コロッケ
材料(五人前)豚の挽肉五十匁、馬鈴薯(中)七、八個、人參(小)半本、牛蒡(小)半本、玉葱(小)一個、玉子一個、ヘット二合、パン粉、メリケン粉、鹽、胡椒、パセリ

▲鯖のトマト・ケチャップ
材料(五人前)鯖(大)一尾、キャベツ、鹽酢、トマト・ケチャップ各少量

臺日歌壇
安成二郎選

臺北 柴田侍郎
さはやかに鍋の湯氣は昼れをりし[illegible]の饒鬪を見つつ寢るも

臺北 淺川道男
けるのかぜ甘蔗畑にふきわたり艦らく來るるはいすみとりなり

臺北 黑崎房子
風強き練兵場を行く子ありぬ子つばの光りて見ゆる

臺北 眞澄多歌子
竹やぶに添うて來にける泥のへのこのねぎ畑の色の眞昏よ

臺北 柴田侍郎
ささの葉の窓のとばりにさやる音がすかに揺する朝のめざめに

臺北 後原須磨
西陽い照る神の宮放しきつつ魚郡見の船の旗のゆれをり
みち潮の沖べ遙かに漁火の浪の間に揺れきらめける

臺北 後原須磨雄
しづかに降りかかるなり
宜蘭 [illegible]
雨に暮れ行く潮をききつつ、降りいでしがはれた時の晴れをしたしみにつつ苗を出す
内容に瑞枝しげれる庭の木に雨はめらひにつつ雀雨の降る
日向けぶる夕べの外面ひそやかにし

涙多き人生を讀む
平川虎臣第三詩集

作者は詩壇の新人らしい。記者には初めての名前である。併し詩を見る上に新人とか舊人とかは問題ではない

×　×

とにかく、この作者の詩風は、決して新しいとは言へないが、うまいと思ふ。たしかに、詩の言葉についての作者の意識と技術は、詩人として自他共に許していい程、鍛錬せられ、洗練されたものである事は認められるだが作者の存在にある。抱負の大きさにも拘はらずその境地は大正年代に流行した虫然主義的な所から、感傷詩派のあたりを、一歩も出てゐない、又一貫した作者の人生への熱烈な求道といふやうなもの、或は鋭い人生に對する新しい觀角と言ふやうなものもないやうである。殊に一九三二年の今日、若い詩人の社會的使命といふものに深い考察を向けるならば、徒に「涙多き人生」について個人的感傷の殻に籠れてゐる秋ではない、作者が詩の社會的機能に無感覺でないならば、恐慌日本の現時に於て、詩が失業にあへぐ大衆の利益と結びつき得ないとするは、たしかに作者の認識不足を證明するものである。それに作者の[illegible]

臺灣放送協會
社團法人 臺灣放送協會 臺北市文武町二ノ三
社團法人 臺灣放送協會臺南支部 臺南市柳盤役

腸の危機に
慢性の胃腸病で永年の間種々盡せども一向捗々しくないときにダイモールをお勸めします。
急性の腸カタールで腹痛・下痢の場合には實に頓座的効果を現わします。
其他チフス・赤痢の豫防に、腹部雷鳴の治療に、水あたり、食あたりの常備として是非ダイモールを!!!
ダイモール
株式會社鳥居商店

春から夏の、新らしき
アンダーシャツ
BLACK CAT
大谷義商店 大阪淡路町一

月經
ドクトル安井先生 御創製 御効証明
最新特殊強力流經劑
サンガー
月やく止り人知れず御心配の御婦人方よ!
本劑は効果確實なる內服藥にして婦界の最新藥なる
濱生園

藤澤の臟器製強力止血劑
トロムボゲンジン
喀血 血痰
內服用錠劑
一回の內服に依て止血せる實驗例を有す
鼻出血、痔出血、子宮出血等に奏効顯著なり
手術前に投與して出血及後出血を豫防す
他に皮下注射用・內服用液劑・粉末あり
株式會社 藤澤友吉商店 大阪道修町

近藤商會 蜂ブドー酒本舗 株式會社

赤毛・赤ら毛染
君が代
黒髪の美!
赤ら毛 赤毛染に 君の代を!
自然の艶やかな黒髪となる
君が代は どんな白毛赤毛も染先ひせず、すぐ染る、永くはげず、毛を傷めず、くせ毛チヾレ毛が直る 是非一度御試し下さい
徳用 新小 二十錢
全國薬店にあります。
本舖 山吉商店

星名刺
各地の取次所にあり

人事撮要 (定價二・〇〇〇)
臺灣日日新報社發行

鼻病
鼻腔內分泌腺を調節し且消炎作用あるを以て鼻病に確實なる効あり
ミツワ鼻病液
鼻閉塞 鼻充血 鼻加答兒 鼻出血 臭鼻症 鼻淵 鼻粘膜肥厚
他に ミツワ點眼液 ミツワ齒痛液

脱毛
ミツワ養毛液
頭髪用香水 ミツワヘーアローション
品質、效果共に天下一品
ミツワ石鹼本舗 丸見屋商店

多收穫記錄保持者の進んだ農事經驗談（四）

地主對小作人の關係を改善

新竹州下の篤農家 賴得鳳氏

自作と小作 以上は自作農と云ふ立場で云つたのであるが、若し之を小作人に向つて直に實行せよと云つても何等效果のない事は今迄の例に見て明瞭である、私が自分の小作人に奨勵、奨勵すべく四、五年間骨折つたが殆んど效果がなかつた、私は小作人に對しては相當待遇して來たつもりであるが普通の事は兎も角、肥料の改良に至つてはロでこそハイ〳〵と云つてゐるが仲々實行しない全く其の原因には閉口したものである、其後至つた動機と原因が那邊にあるや了解に苦しんだ次第である

契約締結 [illegible]

共存共榮 [illegible]

防風林 耕地整理、灌排水の施設、土質の改善等も最も重要なる基本的改善であることを忘れてはならぬと思ふ

地主の改善 最後に吾々が自ら反省しなければならぬ事は自己の經營であつて、吾々地主が地主の立場上、小作人を指導誘掖するには三つの條件が必要である、第一は人格を以て小作人を感化して行く事、第二は智的修養に依り稻作を指導して行く事、第三は力に依つて小作人を働かしむることが最も肝要であると信ずるが、[illegible]

本島への外米輸入

必要量は二十五萬石

督府より拓務省へ打電

本年端境期に於ける米不足の爲め本島に外米を輸入すべきやにつき督府では先般來農林大臣と協議中のところいよ〳〵左の如く立案し五月總督府より拓務大臣に打電した、即ち

「昭和七年度米穀法第三條により外米輸入許可を必要とする數量は約廿五萬石を豫想せらる」といふのである、之に對する拓務省の可否の回答を待ち以つて外米を輸入するや否やが督府に於て決定されるわけである、因に二十五萬石算出の基礎數字は左の如し

昭和六年十一月一日現在高	[illegible]
同六年二期收穫高	[illegible]
同七年一期收穫豫想高	[illegible]
計	[illegible]

供給

需要

自六年十一月一日至七年十月末日消費見込	[illegible]
七年十一月への持越高	[illegible]
自六年十一月一日至七年二月末日移出高	[illegible]
自七年三月一日移出見込	[illegible]
計	[illegible]
差引不足高	[illegible]

と言ふが本島では當然輸入許可がされるものと信じてゐる、蓋し外米を内地へ移出して安い外米を入れると云ふことは國家經濟から見て大いに有利だと信じてゐるが外米が本島へ輸入されるとすれば價狀から見て三十萬石內外である

蓬萊米更に暴落

八圓四十八錢と二圓餘安

二期蓬萊米は期米暴下げの爲め內地の現物相場八圓二十錢以下に暴落し基隆沖渡八圓五十錢ならば約でも

逆移入 が出來るが、移入相場が暴落しては損失を蒙る虞もあるので移出商もアト一寸見送つてゐる、當市場は四月五日限を受渡した盛占め一派が之を島內消費向きに賣らんとする一方實需要の影りの爲め一向賣口なく俄に一昨中盤へ賣れたのみで持續して困るのみならず四月五日限を廻る爲めに當時的に賣つた四月五日限が五十餘もありその買團が多く九州筋で最高九四五十錢まであり五日あたりは在荷

增加と 受米實行不良且つは消費者解散の非難の聲にふら腰となり果ては崩落となつて四月二十日限を賣出し消費業者の現物賣り賣りも出て午後八圓四十八錢と前日より四十四錢方、高値より約一圓十錢方の暴落を演じた新設入口は大勢に暴つことが出來ず期米の推移如何に拘はらず蓬萊米は八圓自體に低落すべき運命を辿つてゐるのである

沖繩への移出米四十萬袋

將來は尙增加の傾向

三井物產肥料部主任 森田銳吉氏談

沖繩から內地の米界を觀察比の爲め臺北した三井物產肥料部主任の森田銳吉氏は語る

蓬萊と沖繩との關係は五年前に密接に結ばれ蓬萊米の移出は年に增加現在米を併せて四十萬袋から四十五萬袋位となつてゐる、然しながらどうも從來は

亂賣の 形勢があつたので商賣がとてもやりにくくなつてゐるが今後は各自移出商で大に自覺せねばならないと思つた、現在沖繩へは縣外から一年三十萬石の移入があるのだから今後自覺次第によつてはまだ〳〵蓬萊米移入の增加することは必然である、唯外米移入で在來米は大いに影響するかもしれないが蓬萊は益々增加する傾向である、九州では地米が安いのでテンデ問題にならず當分は望がないやうに思はれた、阪神京濱共に蓬萊米見れと期米安に全然商賣にならないが

本當に 値が出るとすれば京阪神の在庫が減少してからであらう內地では外米百萬石を入れ

四月一日現在の大阪在米高

百十五萬四千二百二石

【大阪三日發本社特電】四月一日現在に於ける大阪倉庫在米高は百十五萬四千二百二石で前旬に比し一萬二千三百九十四石の増減を示した內譯左の通り（單位石）

內地玄米		六七六、四五八
同	減	一、八八二
同	精米	六三、八五
朝鮮玄米	減	一〇
同		四四一、八八三
同	精米	一二、一七四
臺灣玄米	減	一二、九一七
同		五四四
同	精米	三、三三八
外國米	減	一〇七〇
同	減	四〇
合計		一、一五四、二〇一
	減	一二、三九四

輸出 一〇〇、九七四
輸入 一六六、五〇三
計 二六七、四七七

北部米の炊出試驗

米穀檢查所臺北出張所では五日正午蓬萊白米の炊飯試驗を行つた、出席者は中田商工課長、作田技師、檢查所臺北出張所主任等にして品種は臺中第二號、宜蘭六八號、高雄種改良九號の三種で之につき食味、香味光澤、粘力等を批判するところがあつた

三月の貿易額

入超六千五百萬圓

【東京五日發電通】三月中の外國貿易額は（單位千圓）

三月中の本島內外貿易額

入超一四十七萬餘圓

稅關統計による三月中本島內外貿易額は外國貿易に於て輸出百八十四萬四千八百餘圓、輸入二百三十一萬九千九百餘圓、この計四百十六萬四千七百餘圓で僅か四十七萬五千餘圓の入超を示し、內地貿易に於ては移出三千九十一萬六千圓、移入一千百五十八萬六千餘圓で計四千二百五十萬二千餘圓となり一千九百三十二萬九千七百圓の出超であり、前月に比し輸入減の他は全部增加で貿易況は著しく好轉の氣勢が仄みえてゐる卽ち一月以降の內外貿易累計を比較すると（單位圓）

	本年累計	前年累計
輸出	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]
移出	[illegible]	[illegible]
移入	[illegible]	[illegible]
總計	[illegible]	[illegible]

で三月を經過して始めて前年に比し輸出入移出入共に全部增加を示したことを注目すべく、外國貿易に於て五十九萬餘圓、內地貿易に於て八百四十六萬九千圓の增加で本年は僅か三ヶ月で早くもこの計約九百餘萬圓の貿易が增進せるを示してゐる、更に移輸出の累計と移輸入の累計との差引によると本年四半期に於ける本島貿易は移出期とは云ひながら實に六千二十四萬圓の出超を示してゐる、次に各

前回實業大會の決議請願案件の成行

督府の意見要旨（下）

一〇、 上家並料使用期間を延長せられたきこと
基隆、高雄兩港倉庫上家及倉庫の管理經營方に付ては目下研究中に屬するを以て右研究の結果本件を決定せんとす

一一、 外國貿易振興の爲海外特派員を設けられたきこと
本件に關しては茶及砂糖に付ては總督府事務官を每年に駐在せしめて參考資料を蒐し居れり其他に在外商務官、貿易通信員等よりの資料の送付を受け居れり、將來外國貿易の進展に伴ひ更に特派員設置の必要を生ずるに於ては之が實現を圖るの方針なり

一二、 河川整理に關しては其の施設の現況に照し財政の容す限り速に實施を圖られたきこと

本島の河川は河床勾配の急、洪水量の多大等他に見ざる特異の關係ありて之より起る水害の防止は實に重大事たるを失はず從て之が根本的治水計畫に付ては夙に全島主要の二十七河川に付き各種の調査を爲すと共に一面河川法を施行したる次第にして既三年中には右二十七河川全部の治水計畫を終了せしむる豫定なり而して其の最も緊急を要すと認めらるる下淡水溪、宜蘭濁水溪、鳥溪及曾文溪の改修工事は目下着々進捗中にして其他の河川に付ては重要なるものより財政の容す限り順次工事の施行の見込なり

一三、 現行の所得稅法を改正し大島に於ける會計企業の興發を圖られたきこと
現行所得稅令の改正の要否に付

一四、 航空事業を基礎とする航空航路開始を促進せられたきこと
航空事業に付ては夙に總督府に於ても自ら航空調查費を設けて一般的調查を行ひ進んで內臺航空路開に於ける實地の調查を行はんが爲昨年十月日本航空輸送株式會社をして二往復の內臺間郵便試驗飛行を實施せしめ良好以上の成績を收め將來內臺定期航空路、島內航空路開設、飛行場設定に航空路施設に關する調查準備を進めつつあり

一五、 下淡水溪架橋は速に實現せられたきこと
財政を按配し實現を見る樣ならんことを期しつつあり

一六、 公共水道の如き救濟の [illegible]

本件は目下研究中なり

一七、 既設鐵道事項にして東ねて下方應中に屬す
本件に關しては當局に於ても目下研究中なり

一八、 全島鐵路線路の改良工事促進方請願の件
本件は夙に其の必要を認め年來計畫する所なるも財政其の他の關係上未だ其の運びを得ざるを遺憾とす

ロ、線路改良中最も重要なる二大線を除きたる縱貫線改良及下淡水溪の二大橋を除く改修工事は昭和十年度迄に完成せしむる豫定を以て目下進行中なり

一八、 金瓜石の獎勵及保護助成に關し政府の方針を確立せられたきこと
本件に付ては夙に鑛業規則を改正して金鑛業の鑛業權を平減したる外民間事業として着手に困難なる砂金鑛存の豫想地に付ては當局に於て之を調査し開發の手を染すべき參考資料を作成し一般に發表の方針なり

一期蓬萊

七月物暴落

移出筋の買戾し

入超 六五、五二九

一月以後入超累計一億五千九百萬二千四で輸出入とも前年同期に比し增加してゐるが入超額は三月中三千三百七十七萬九千四一月以降一億二千三百八萬四を增してゐる

新期米は六月限發會後小甘り僅下げし期近の投げも一巡して五日は一寸二服氣味に戾したが此の期米安の爲め一期蓬萊七月物は東京で神の八圓二十錢まで暴落し一時より約九十錢安を告げ移出筋の買戾し玉で利喰買戾されたものも少くない、加盟商會の如きは神の九四二十錢から八圓八十錢までで買つてあつたものを四日八圓四十錢から八圓二十錢迄で買戾した、向ひ在來米の先賣物も今度の暴落と爲會に內地移入筋との間に解合ひとなつたものが尠くない

そこで 一期蓬萊である が最初九四二、三十錢見當で出來た一期蓬萊も現在では八圓四十錢に落込み商賣筋は八圓勝を目標として居り氣配はどうも弱いと見るより他にない六、七月限で五、六萬は出來てゐるやうが恐惑の危險を圖り今年は例年に比較して非常に取組が少い送時の相場は現在に見るが如くどうも不合理なことが多いが之はお互ひ大いに注意しなければ自らの墓穴を掘るやうなものである

滿蒙投資と本島との關係

早急に滿蒙景氣は出ない

島田臺銀頭取談

滿蒙新國家開發資金調達はいよ〳〵政府側からの要望で三井、三菱の兩財閥が乘出しとなり更に住友、安田等も動くと見られ我財界に明るい大きな衝動を與へてゐるが、右につき臺銀島田頭取は往訪の記者の問に對し次の如く語つた

新興の滿蒙がどの程度まで確實にあるか、所謂の如くとすれば、滿蒙開發の如き大投資となると

國家的 重要なものではあるが何しろ普通の採算を以てするる放資と違ふので一般の金融機關が財閥でないそこで一寸オイソレと手が出ない、そこで三井、三菱が乘出しとなり更に住友、安田等の大銀行も動くとあるはこれらは金融の立場よりはむしろ其系統による經濟機關、事業關係から來てゐるもの

でもあるまいか、臺銀としてはどうかと云ふと金融分野から見ても分るやうに

全然畑 が違ふから臺銀が之れに係はるやうなことはあるまい、ただ今後これらの內地財閥の滿洲開發に力を入れ直接關係はないが開發につき直接間接の影響からの臺灣物產の滿洲への輸出增加に伴ひ臺灣物產の臺灣の輸出が增加して、それに伴ふ關係は云ふまでもない、然し唯だ一言ひたいのは滿蒙々々で今にも所謂滿洲景氣が到來するが如く

人氣立 つてゐるが何千萬圓といふ巨額の投資資金はその實大部分固定する性質のもので今年度資金が動いたからとてすぐ來年から花が咲き實が成ると早期しても滿蒙景氣といふものは來るにしても望ましいと云ふものではない、これは國家百年の大計であつて國民は眞面目に自重してかからねばならぬのだと思ふ

滿洲への移民獎勵

大集團による自作農創設へ

滿洲建國によつて我が國の過剩人口を移住せしめる計畫は滿洲國人として移住する形をとらなければなるまいかとの方法につき攻究されつつあるがその根本となる點は從來の失敗に鑑み移住民の

永住を目 的とするもので從來の如く出稼的方法では效果に乏しいので大集團的に行ふ方針で、大衆主義より自作農創設を目的とするものである、それには一村一郷の移住者を分散せざるやうに移住せしめ永住の目的を達する爲めにあらゆる文化施設の充實を圖るその結果當然の勢として移住者間に於ける收引が起るから從來の如き日本人の

生活程度 に對する問題も移住者の生活不安が緩和されるもので右の如き方法で行はれるものであるがな兵移住民に新天地開發の爲の從來の採算よりも割安に物ふ新の生產品の移入が行はれ更に移住地の通常とされてゐる所の生產品によつて自給自足を圖る事に努める、それ故移住者自身でも出稼ぎでなく

ガソリン値上げ

三社の標準值 一函二十錢方

本島に於けるガソリンは島內に於ける自動車交通の發達に伴ひ逐年需要增加の趨勢にあるも最近に於ては一般不景氣の結果自動車營業者の經營も困難にて努ひ經濟的の方法としてガソリン其他の消耗品を出來得る限り安く購入せんとし因率直に爲に乘客用の經營からガソリンは地元の貝石油を主として使用しつつあ

る

六年度の臺東鐵道

客收減貨物收入は增加

三月末日締切りとなつた臺東鐵道昭和六年度の營業成績は總收入五十一萬三千三百三十七圓三十一錢で前年度の收入に比較すると二萬二千七百四十四圓九十四錢の減少を示してゐる減收した傾向として客車收入二十九萬八千二百六十八圓七十六錢で前年に比し三萬五千五百三十二圓七十八錢を減じ貨車收入は二十一萬五千六十八圓四十五錢で之は反對に一萬三千百八十四圓八十四錢を增加してゐる從つて不景氣から生じた旅行者の動きが著減したことを物語つてゐる特に著しい現象としては本島人の農家や勞人苦力などは苦力自低下に原因したものか徒歩主義を取り乘車しない傾向である、その他短距離で自動車の發達ある地方は發著回數の列車を利用しない傾向となつたのも一原因であらうと觀られてゐる、卽ち乘車人員から見ると六年度は八十四萬一千二百九十七人で前年度に比し十三萬九千八百五十六人を減少してゐる收入を增加した重要物產の運輸狀況を示すと左の通りである

種類	數量(瓲)	前年對比增△減
甘蔗	七〇、〇四四	一、九三三
米	三、六五四	△
砂糖	三、六〇五	三、八〇五
石炭	八、一五五	一、〇三一

硫安の輸入許可問題

【大阪五日發本社特電】硫安委員會は昨年十二月官制公布以來未だ一度も開催されず三月末以後の硫安の輸入許可方針も未決定のままになつてゐるが肥料の出廻り最盛期を前にこれらの方針を決定する必要があるので商工省農林省各政務官は二日午後二時農相官邸に集り委員會開會の手續を打合せた結果四、五日中に第一回委員會を開くことに決定した附議事項は內地の製造狀態これに異く輸出入の統制等であるが該委員會には內閣法制局長官を除く政務官が參加し得ないので開會までに關係各省の政務官を委員として加へる筈である

日淸製油

大稻埕へ移轉

日淸製油合資會社は城內より大稻埕へ進出する爲めに榮町新榮中の永樂町一の四八番地の店舖が此程落成したので三日新北門の舊地より之に移轉をなしたが五日午後六時從來山館に取引先、同業者其他を招待し披露宴を催した

臺中米價（五日）在來米中不丸精九一〇錢在來米二〇〇錢乘鐵出來高九三〇〇袋（臺中電話）

北南西東

砂金採取業に於ける臺灣の新記錄と云ふべき採取高は金瓜石、九份、武丹坑山も二大量の砂金を採取してゐるが其の採取方法は殆んど擧げて人工によるもので北投、四腳亭の如きも同樣である、採取者は日本人六十錢から一圓になると云ふから水鑛を採るよりは割がいいが、採取も當業者の方からも上ついてゐないので、砂金の採取は河ラツぶちの砂金層を狙つてゐるのが普通だが、渡動式ポンプで何米突かの水層に引きあげて之を洗つたのを採取機にかけ製鍊をしてゐるのだ▲何にしろ極めて少量ではあるが九萬圓から七狀に至る間の河底には何處でも砂金が採れるのだから馬鹿にならぬ▲しかしまだ其の砂金層の生成及埋蔵が科學的に調査されていないので採取は濫掘でやりして上ず、從つて合理的な採取をするもつか一ついで失業救濟になるもしれぬ▲蓬萊米の買占めも何うやら失敗と相場がきまつた▲朝鮮米が移入されたり蓬萊米が內地から逆移入されやうとは思ひもよらなかつたであらう▲加盟商會の朝鮮白米小賣は消費者に歡迎され各方面から電話で注文して來るといふ有樣である▲大衆の利益を無視してまで金儲けしやうなどとは不屆至極である、商人も商德は商道は廉直にしなければならぬ、買占め一派の猛省を促す

正市 二期丸糯

先限向上場

蓬萊正米市場に於ては五月二十日限丸糯米は上場することに過日決定してゐたが臺糯米の移出餘力は尙八萬餘袋あるので市場委員會を開催の結果五月二十日限は上場することに決定した

（港別三月中貿易高を表示すると次の如くである（單位圓））

港別	輸出	輸入
基隆	一二〇、〇九	四九〇、三三六
淡水	[illegible]	[illegible]
臺北	[illegible]	[illegible]
後龍	—	[illegible]
東石	—	[illegible]
安平	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]
馬公	[illegible]	[illegible]
計	一、八四四、六七七	二、三一九、四一八

港別	移出	移入
基隆	[illegible]	[illegible]
淡水	[illegible]	[illegible]
安平	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]
馬公	[illegible]	[illegible]
花蓮港	[illegible]	[illegible]
臺東	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

商況

五日

米況

臺米相場

（臺北米穀商同業組合）

		前日對比
北部一期丸粳米	九、〇〇	三安
中部二期丸粳米	九、一二	五安
南部長粳米	六、九二	二八安

基隆在庫米（五日現在）

一期蓬萊米		二二五袋
二期蓬萊米	一八、九四三	
一二期蓬萊白米	三、六六六	
二期丸粳米	二五、二四〇	
一期長粳米	六五四	

魚類卸相場表（五日）

臺北市中央卸賣市場

魚名	高値	平均
[illegible]	[illegible]	[illegible]

【備考】【前日出荷高】[illegible]

肥料

肥料	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]
甘蔗	[illegible]	[illegible]
煉瓦	[illegible]	[illegible]
新炭	[illegible]	[illegible]
セメント	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

株況

大阪短期

	寄	引
東洋紡	一三五、〇〇	一三五、三〇
日新	三七、八〇	三八、〇〇
鐘紡	五四、一〇	五四、一〇
日紡	四四、六〇	四五、〇〇

堂島米況前場

【大阪五日發電通】昨夜來期米安の氣先より不味ながら先は中東筋、京都筋、正米筋等良く買ひ寄りも地場の一齊利喰に殘氣の乘替もあり二十四錢十六錢と小堅く寄り海外地場其他の傾損買に逐次引締り廿六、七錢と跳ね錢朝鮮筋日先筋買に行圓へ十九錢と押し株式筋高に結局二十九錢と騰返して大引

堂島米況後場

【大阪五日發電通】各地一服に人氣落付き正米筋、朝鮮筋、中東筋買、地場海外買ひ二十錢と小堅く寄り商內に三十錢氣み地場買に二十五錢と見せ二十三錢と大引閑散化と買疲れから逐に閑れた相場も解合成立と投賣分に器面の不出合玉にあら方一掃された限あり稍々人氣落付氣味で新規買も弗々あるが未だ相當內場玉も多い爲め買方悲觀の聲は衰へぬ依然も利喰々急いでゐるが一杯吹いた所を賣叩かんとしてゐるので相場も存外伸悩んでゐる向伊東は當限を朝來新規に賣進んでゐるが當玉は各受米すると称してゐる

堂島兩建控除前場

賣方	川岡四、一〇〇上栢二、七〇〇、崎戸一、六〇〇古羽二、一〇〇北川一、五〇〇大田一、二〇〇海原
買方	海原一、〇〇〇桑井止一、二〇〇崎岡一、五〇〇田中一、〇〇〇稲田一、五〇〇中央一、〇〇〇小河六〇〇

堂島兩建控除後合

當限 買方	海原以下二十六店
中限 買方	北川以下二十三店
先限 賣方	海原以下二十二店

昨日の市況

株式	弱い
綿絲	强い
期米	小戾
砂糖	保合

堂島本日の出來高

四六、五〇〇石

各地正米

東京（深川）二十錢安　大阪（十錢安）神戶不變

大阪期米

	寄	先
前場 當	二二、五五	二二、四五
中	二二、三二	二二、四三
先	二二、二〇	二二、二五
後場 當	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

東京期米

前場	[illegible]	[illegible]
後場	[illegible]	[illegible]

神戶期米

前場	[illegible]	[illegible]
後場	[illegible]	[illegible]

正米市況（後場）

當市場は受渡し休場各地期米は行商の反發で今朝は小戾後更に寄付商内も一服したが止際收納、當市場は受渡休場なるも引締氣配は亂戰の前限納會で暴落を演じ漸く平靜に復さんとしてゐる

二期蓬萊米	六、六二	一安
同 在來米	六、九九	なし
同 長粳米	二、一七	九

高雄在庫米（五日現在）

到着米	二二、三三〇(五一三四)
合計	四九、六七八
二期在來白米	一二、五九〇
其の他	五四

大阪長期

	寄	引
大新	七七、五〇	七七、五〇
同新	六六、八〇	六九、〇〇
鐘紡	一九、六〇	一九、九〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京長期

	寄	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京短期

	寄	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京銀行貸株

[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京國債

	寄	引
甲號五分利	八七、二〇	八七、二〇
第一四分利	八六、三〇	八六、四〇
第二四分利	七三、五〇	七三、六〇
二十八年物	八七、二五	
棉貸公債	一二四、八〇	
鐵道出來高	一六五、六〇〇圓	

東京株況前場

【東京五日發電通】前日の不勢を受けて人氣は依然悲觀的氣分であつたがマバラの投物大體一巡したのと今朝人電の外電强硬と相俟て落付氣味で買方の利喰目立ち小戾し歩調となり總株高と共に新紡新四十錢高、東洋紡一圓高を示し砂糖株では鹽糖九十錢安乍ら明糖六十錢高、鈎鋼、淺野、富士紙一四內外高、日石、帝國二十錢高と反發し東株は安値突込買傳戰され鬪

東京株況後場

【東京五日發電通】前場引値と同じく小高く寄付きたが中野の新東一寸拔賣で新東が上げた短期新東が依然として大株引けは當にあ小げ一圓高五十五、六圓方引けてゐるので其の結果如何が目先の氣勢として大いに氣遣はれてゐる

糖況

爪哇

直貨	一四五仙
四月	一五〇仙
五月	一五〇仙
六月	一五五仙
七月	一五〇仙

玖馬

直貨	〇弗二分二厘

大阪砂糖現物

三盆	七四四〇錢
分蜜	七一二〇錢
精糖	[illegible]

倫敦

五月	七四七八分
七月	五四八分
九月	六四四分
出來高	四千噸

大阪定期

▲前場 八限	九、一二	[illegible]
▲後場 八限	九、一二	[illegible]

穀肥

神戶豆粕

▲前場	四限 二、七〇五	六限 二、七二
▲後場	四限 二、七〇五	六限 二、七二

神戶市中相場

大豆現物	四五五
豆粕現物	一、二二
滿洲豆粕	[illegible]

銀塊

米日爲替

三弗七八仙

米英クロス

三弗八仙

神戶爲替（日米爲替）

倫敦	一志七片八分一
同 先物	一志七片八分三
紐育	三弗八分一

綿絲

大阪綿絲

米棉五十錢高 印棉二圓十五錢安

	寄	引
▲前場 四限	一三四、〇〇	一三二、六〇
十限	一三八、二〇	一三八、三〇
▲後場 四限	一三二、七〇	一三二、七〇
十限	一三七、四〇	一三七、八〇

大阪棉花

	寄	引
▲前場 四限	二八、六五	二八、八〇
▲後場 四限	二八、八〇	二八、八〇

東亞の謎

(233)　作者 國枝史郎　畫家 伊藤順三

四祖の自動車隊（三）

……木立がところ〴〵に立つてゐて、泉が所々に出てゐ、井戸が數ケ所に掘られてあり、或は小屋が十數軒立つて居り、包が何數十箇張られて居る。——と云つたやうな所であつた。

小屋は旅行者の旅舍であつた。

土人のお祭があるといふので、洋子は旅舍から外へ出た。

巴林と也迷彦とを供に連れて。

供に連れて……といふこの言葉は、洋子にとつてかけ替の言葉であつた。

巴林が洋子を手に入れやうとすれば、也迷彦が陀張邪魔をした。

也迷彦が洋子を征服しやうとすれば、巴林が必ず妨げた。

だから二人のさうした關係が、洋子の貞操や生命を、自然に守ることになつた。洋子は安全な境遇にあつた。

さういふ安全の境遇から一歩、いや二歩も三歩も出て、彼女は二人を操縱し得る女王のやうな位置に立つてゐた。

らない。だから甲斐の無いさういふ思ひは、せめて現在が安全であるといふ一事に割引かせて、その一事を享樂しやう……といふ所に立つてゐた。

いろ〳〵の是迄の破天荒の事變と、それに伴つた危險とが、彼女を大陸的の大膽な女に、すつかり高上させたのであつた。

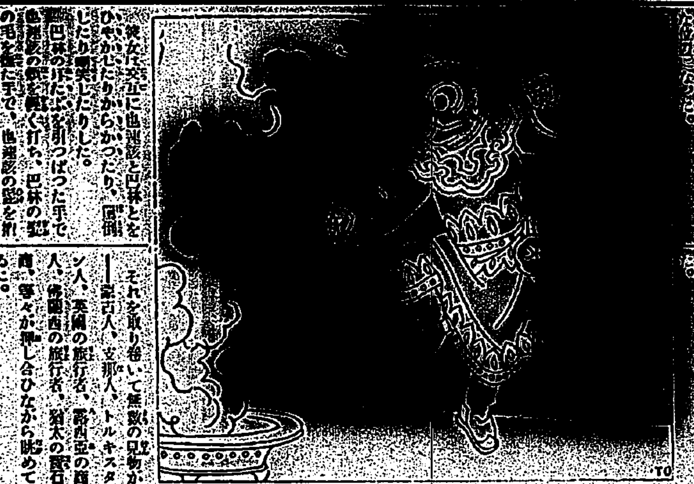
だから彼女は朗かでさへあつた。

朗かな彼女は此夜も朗かに、二人の野蠻人を供につれて、焚火の果のある處に營庇を作り、その營庇をとりまいて、土人たちが輪になつて見える方へ歩いて行つた。

焚火が宏壯に映つてゐた。

グロテスクな巨大な假面を冠り、部族めいた服裝や、鉈めいた武器や蠻刀めいた武器を握り、土人の踊り子たちは踊つてゐた。

踊る土人達は木の太鼓や、法螺の笛や、象牙の笛を吹じ、踊り子達を圍く包んで、……



彼女は交互に也迷彦と巴林とを、ひやかしたりからかつたり、鬪争したり嘲笑したりした。

巴林の汗だらけを引つぱつた手で、也迷彦の頰を輕く打ち、巴林の顎の毛を握つた手で、也迷彦の胸を抓つたりした。

『ね、さうでせう、野蠻人でせう。あんた方二人野蠻人よ。だから日本の淑女に對して、失禮しちや不可ないことよ。いつもお行儀よく、いつも上品に、あたしにお仕へしなくちやア。……ね、解つたでせう、解つたはね。さあ解つたらお手々あげて』

こんな風に、あつかひさへした。

自動車の中でも然うであり、此處へ來ても然うであつた。

無論こそ恐ろしくも怖くもあり、今此こそ命が無いかもしれないと、そんな風に彼女は思ひさへした。が、今では必ずしもさうではなかつた。飛んだ冒險的の面白い旅行——そんな風にさへ思つてゐた。

踊れたメトや次郎のことを思へば、悲しくもあり逢ひ度くもあり、殊にそれ以前に別れた兄や、南部や小夜子のことを考へれば、思慕の想ひに堪へられなかつたが、かうなつてしまつた自分に取つては悲しても思慕しても何うにもな

それを取り卷いて無數の見物が——蒙古人、支那人、トルキスタン人、英國の旅行者、露西亞の商人、佛蘭西の旅行者、猶太の寶石商、等々が押し合ひながら眺めてゐた。

洋子達もその中の一人であつた。

『おや』と洋子は聲に出して云つた。

誰かを——何者かを眼に入れたらしい。

臺灣兒童の內地見學

第十五信　三月二十六日

早朝から準備して手荷物はトラックで、神戸の扶桑丸まで送り屆けてもらふことにして、一同は七時に宿を辭しました。大阪驛までの電車は殊外に都合よく運んで驛に着きました。驛長の取はからひで、汽車にも混雜なく乘りました。七時四十六分大阪驛を發した汽車は神崎、西の宮、灘、三の宮等をすぎて神戸驛に着きました。直ちに湊川神社に詣で當時の歷史をききました。が蕭然たる當時の古戰場は今は跡ふ由もない市街と化し湊川院の御さへ見るを得なかつたのはいささかさびしい思ひがしました。光圀の『嗚呼忠臣楠子之墓』の碑にはいかにわらの心を動かしたことか。特に水戶公の楠氏一代を稱せる碑書はいかに強い印象を與へたことか……。ここから直ちに海岸通りを歩いて第四突堤に碇泊の扶桑丸の客となりました。

× × ×

少し遲れて見えた公學部の旅行團と合併して夫々船室に落付きました。紅白のテープは風に靡いて別れを惜みました。船は滑るやうに纜を解きました。六甲の山、摩耶ケ峰、神戸の街に別れを告げ須磨明石の浦を眺め淡路島の翠影をながめて播磨灘に入りました。天氣はよし、船は微動だにしません。迎る島、迎へる山、出る帆影、入る河船、いふだけが野暮、說くだけが無駄、恍惚と見とれてゐるのみでした。

× ×

隊長は公學部の隊長小林氏と共に新任の安武文教局長を船室に訪問し挨拶を述べ、同一行一同が同船の總督閣下を御歡迎申上げたき旨の希望を述べ、その方法について御意向をお伺ひいたしましたところ、快よく御承引下さつて何かの御指圖がありました。そして總督は明日門司出帆後といふことにきまりました。船は靜かに瀨戶の海を過してゐるうちに通りました。夕刻の頃には船は關門の瀨戶を過ぎてゐました。

第十六信　三月二十七日

早朝門司著港、商船會社の階上によつて小公學部合併ランチに乘つて關門海峽内を遊覽いたしました。和布刈神社のあたりに早鞆の瀨戶の急流を見ては平家の末路をあはれみ、春帆樓を望んでは日清役の大臣閣を偲び、彥島海岸に防波堤、船渠等を遊覽し、巖流島に宮本武藏の事を語り、日本石のセメント會社等を見してランチは門司の商船棧橋に橫付けにせられました。

ここで一同上陸し各係別に市内を見學視察することに致しました。市の賑はしい榮町通りを素通りして老松公園に遊ぶものもありました。學校を參觀するものもありました。淸瀧の公園を逍遙し背後の山を登りて關門を始め長防、豐前を鮮眺し遊覽するものもありました。各所の櫻は蕾がふくらんではゐましたが、その開花を見ることができませんでした。紅白梅や桃のあはれに咲れると樹々の梢の萌れるとう僅かに旅情を慰めるのでした。十時半のランチにて一同は本船に歸りました。

× ×

正午船は門司を解纜しました。午すぎ一行は一等船客外の散歩臺に集合して安武新文教局長さまから一場のお話を承はりました。ついで同局長の御案内によつて南臺灣總督閣下をお迎へし、隊長の主唱によつて閣下の萬歲を三唱いたしました。閣下のお顏を拜しては一同は喜びに滿んだのでした。私たちは總督閣下の謁見はないが、この船中に於て送別の機會とはいへ、この船中に於て文教局長閣下をお迎へすることの出來ましたのは旅行の終りに一層の花をそへるものでありました。

× ×

船は玄海灘より五島の沖を南下してゐます。空は曇り勝ちで甲板上の寒さはきびしいが、風浪で船の動揺はさほどでもありません。子供たちは元氣よく甲板を走りまはつてゐます。一同は今回の行の無事を感謝しつつ、その夜は靜かにねむりました——扶桑丸の船中より——

第十七信　三月二十八日

昨夜から海の模様ははげしくなりました。船の揺れはけはしく殆ど全部寢ました。船は立て直下したことも度々でありました。でも好きの船客に比べて子供たちは至つて元氣です。[illegible]

のにはボーイさんも呆れてゐます。これで今夜一夜をすごせば明日は基隆につきます。子供たちの父兄も必ず多數出迎へて下さるでせう。總督一等閣下も北驛について總督…子供たちをその父兄にお引渡しをすればホット一息つくことができるのです。

× ×

出發前に誰かがいつたやうに『中等學校以上に於て起つた事故は生徒が惡いからといつて拒否もされるが、小學校の兒童の間に起つた事故は教師の不注意だと斷定されても弁解は出來ない。』でも……まア隊々氣をつけて無事に歸つてくれよ……」と、このためにこの二十日あまりどれだけ苦心したかしれぬ。誰も睡眠不足した、神經衰弱となつた。それも明日限りで一段落をつげるのです。[illegible]（完）

偉功を奏した鐵兜のはなし（上）

兜の昔に還つた

臺灣軍兵器部長　峰尾大佐談

麗らかな春の光を受けた臺灣軍兵器部の門を入つて記者は兵器部長室に罷出て部長の峰尾甲一大佐を訪ひ兵器の話を聽く。大佐は心好く專門的立場から通俗的に興味ある話をして吳れた。戰鬪服位にゐる兵の被つてゐる鐵兜に付てのお話……

平家の大將惡七兵衞景淸は逃れんとする美尾谷を追ひかけて『むんずと摑んでうんと引く、引かれじと前に行く、互にえいやと引く力に鉢付の板より引きちぎつて』と兜の鉢形にはこの樣な引張り抗力も緖に面白い物語を殿際させて居る。又本朝

二十四孝では武田家の家寶諏訪法性の兜を神秘的に取扱ひ兜と云ふものに對して莊嚴さを與へて居る、古い兜で現に國寶に指定されてあるものも多數にあり明珍左馬之介の二の谷の兜、諏止の長烏帽子兜等も今に傳へられて居る。昔の兜は何れも頭を蔽ふ部分を鉢と稱へ前面に眉庇後方に錣が付いて其大部の形を構成し、鉢の頂上には八幡座があり

軍神八幡大菩薩が此處に宿つて武運を守護し給ふと傳へられる、鉢は板金を綴り合せて作り錣へ取付け留鋲を樋ふ役目をさせるものであるが其の一枚目の板を鉢付の板、二枚目を二の板、最後のものを菱縫の板と云ふのである、此等全部で三枚から成つて居るものを三枚兜、五枚から成るものを五枚兜等々と言つて居る。『ホーマー』の詩に『アリシヤ』の勇士が

眞鍮の兜を被つて云云との句が……

ある『ホーマー』は西曆前九世紀の詩聖であるから西洋の兜の歷史も隨分古いもので其變遷の狀態を調べて見ると『イングランド王エドワード』三世の佛國に對する所謂百年戰爭、少女『ジャンヌダルク』の出現に依つて勝つた百年戰爭（一三三五——一四五三）の後半期に用ひられた兜は其の形態が新しく最新婦人の『ボンネット』と同型であるとしてそれを以て最新『タイプ』とするならばモダン諸嬢の頭も五十年の尖端を步んで居るものとは思はれぬ

世界大戰は一旦廢れた兜の姿を再び現はし兵士の頭部を保護して有形的效果を擧げ又精神的無形の效果をも收めた事は誠に面白く歷史の循環を物語るものではあるまいか。夫は更に內容に現代の『ヘルメット』俗に言ふ『鐵兜』の發達を見て鐵力の帽子と稱せられたるものに就て述べやう。此譯は古い字引には出て居らぬから世界大戰中にできた言葉と思はれる。歐洲大戰間多數の鐵兜の中には金屬物で效力の少ないものもあつたが、大體に於て立派の金質を備へて居ると思はれるものが多いのであつた。『西部戰線異狀なし』に

斥候に出された『ボールボイメル』君は砲彈穴の中に舞りながら[illegible]

『鐵兜を脫いで頭から少しもち上げてもう一度彈丸の高さをハッキリ知らうとした其次の瞬間である手に持つた鐵兜はすぐに彈丸で射ち飛ばされてしまつたして見ると彈丸は略醒地面の上を低く掠めて飛んで居るらしい』と勇敢に而も巧に兜を利用して居る然し乍ら兜の金質は不良であつた事を說明して居る

鐵兜の形　各國の鐵兜を見ると盆形をした深きもの、鐵形をした淺いもの等色々あるが、戰場で飛來する彈子・破片・土砂、石片等が

鐵兜に當つて貫通しはかつたならば必ず跳飛するか之等が弱力で兵士を更に傷付けない樣にする爲めには兜體の外に鍔が必要である

現代の鐵兜では之等に相當する部分は鍔であるドイツのものは鍔に相當する部分は特に大きく出來て居る而も形が深いので頭部は勿論頸部、耳部を蔽ひよく此等を保護する事が出來る、然し重量を增したり窮屈しい感を與へはしないかと思はれる、深淺何れの形が勝て居るか

專門家の意見に依れば頂部は球形となし緣部は極めて緩に傾斜させて所々成形したものである之は鍛造整形、製造容易で然も歐洲大戰の經驗に依れば此形が抗力上最も有利であつたさうである又緩な所は彼此内兜に依る大渕及頸部の損傷に對して保護の效果があり大戰後の鐵兜は多く此形式に從ふ傾向がある、戰地で必要に迫られて兜が永波『不ケツ』の役をつとめたり柄杓の代用となつたりしないとも限らぬ或る

冶金學者の歐洲大戰の觀察談に鐵兜を特殊鋼に使用して居たのを見受けたさうで而もそれが加熱に依つて脆弱となる高滿俺鋼製の鐵兜であつたに驚いたと述べて居る此等は地金の性質に對する無智が自らの窮穴を掘らしめて居る樣な極めて危險の一例である。然し可なり嚴い用途を持たしめる事は確かに有利であるから鐵兜の形狀は勿論僅かに通氣孔一つの位置の問題に對しても充分考慮を拂はねばならないと思はれる又

日本人と外國人との解剖の仕樣は全く異なつて居るかと思はれるが美しい甲冑を身にまとうて出陣を華かならしむる所が古武士の心掛の一つであるとしたならば謬りに不釣合な形も考へものである

鐵兜の重量　獨逸のものは約一瓩〇五〇、英國のものは約〇瓩七三三、佛國のものは約〇瓩六六〇である、之等の數値は內兜に取付てある『クッション』を除いた場合のものである其他の各國は大概一瓩二、三百となつて居る鐵兜は軍帽と同樣に

號數に依つて大小を定めるか然し其號數は軍帽の其れより荒く區分せられ內兜に入れた箱を加減して各自の頭に合はせる樣になつて居る

鐵兜の厚さ　重量が大體定れば兜の厚味も自然狹い

範圍の內に限定せられてくる一例として歐米各國のものに就いて示すと次の如くになる

兜の種類	ミリ
瑞チエルベルチー	一、一三
瑞エスキルスワナ	一、〇八
瑞ブルーゼウイッツ	一、一〇
瑞レヒリングブデルイ	一、〇二
米	〇、八七
英ハッドフイールド	一、〇〇
英ヴイッカース	一、〇〇
佛フランク	〇、八三

之等を平均すると一、〇〇粍強の厚さとなる將來鐵兜に對して『アルミニウム』や『マグネシウム』の輕合金又は超輕合金の鐵が使用せられる場合が無いとも限らない『アルミニューム』の比重は鋼の約三分の一『マグネシウム』の比重は『アルミニューム』の約三分の二であるから前述の樣に兜の重量が先づ一定して居れば『アルミニューム』合金では獨逸兜の約三倍『マグネシウム』合金では同約四倍半の厚さにする事が出來る

兜地金の中の高速度鋼は何れも方ミリ付き約一〇〇瓩の力を持つて居るが『アルミニューム』合金中最も勝れたる『ジュラルミン』は約四〇瓩『マグネシュウム』合金は約二七瓩であるから夫々三倍、四倍半にすれば一二〇瓩及一二一瓩となつて反つて高級鋼より勝つて居る樣な結果となる然し之れは厚さに對し抗張力の關係のみを舉げたものので鐵兜として他の條件をも考慮に入れなければならないから直に假勢を論ずる譯には行かない（カットは鐵兜をつけた峰尾兵器部長）

美觀地區に指定される半藏門附近

宮城を中心としてその周圍一帶の地域を美觀地區にして特別の保護を加ふる事が內務省、東京府市參觀部の間に決定された（寫眞はその地區に包含された半藏門附近）

文人の自惚れ話

堀口九萬一

時の古今と洋の東西を問はず文士や作家の自惚れ話は甚だ多いものではない。思ひつくままにその一二の例を擧げて見やう

○——○

ヴォルテールのところに一人の男が駈け込んで來て、息をはずませながら『先生の御著作が、發賣禁止になりましてその上同時燒却の命令が下りました！』と注進に及ぶとヴォルテールは少しも騷がず、『いやそれは持つて來いです。僕の本はねあの栗と同じことで燒けば燒く程よく賣れるのです！』

○——○

ジャン・モレアス（フランスの有名な詩人一八五六——一九一〇）のところへジュランが知合の一人の大學生を紹介する爲めに連れて行つた。詩壇の雜話が一通り濟んだ時、モレアスがその大學生に向つて

『今晩僕のところへ晩餐にやつて來給へ、さうすりやね、いつか君は世界的大詩人と食卓を共にしたことがあるといふことがいはれるといふものさ！』

大學生が呆氣に取られてゐるとモレアスは更につけ加へて

『本當だぜ、君。僕はね、いつて見ればまあホーマーと肩を並べる程の大詩人なのだよ！』

すると傍にゐたジュランが

『そのホーマーは實際存在してゐたかどうかといふことが今日では隨分問題になつてゐるやうだ』

といふとモレアスが

『さうだ、ホーマーはひよつとすると存在してゐなかつたかも知れないのだ、だがこの僕はちやんと存在してゐる』

○——○

バルベー・ドールビリー（有名なフランスの作家一八〇八——一八八九）の宅へ或る親しい友人が入つて見ると、机の上に彼の有名な作『シュヴァリエ・デ・トゥシュ』の原稿が載せてあつたので、ちよつと讀んで見て、そして『君、この文句は文法に適つてないよ』と友人が得意氣に注意すると、バルベーは何を猪口才なーといふ風を見せながら、急にその頁をはくつてしまつて

『君の文法に適つてるかも知れないが僕のには少しも適つてみないよ！』

これと似た話がシャトー・ブリアン（フランスの有名な作家『他界記錄』の著者）にもある。或る日彼の文章が文法違反だと指摘された時に彼は泰然としていつた

『土手を突き潰さぬやうな河が大河といはれるかい！』

文人の自惚は西洋ばかりではない。支那にも隨分澤山ある。晉書の孫綽傳にこんなことが出いてある。孫綽はかつて天台山の賦を作つた時、その辭致の所娛、自分ながら驚々する程よく出來たので、孫綽は、これを畢、范友（榮期）に見せて

『君、試みにこの賦を地に擲て見給へ、當に金石の聲を作すべし』

といつたとある。そして好い詩文の褒め言葉に今日でも屢々用ひられる『擲地金聲』の故事の起りは即ちこれである。これ等は何れも自惚であるにしても多少の自信がなくてはいはれぬ話だ。そこで今の我が文士中に、これだけの自惚をいひ得る自信のある人士が幾人あらうか？

茜なかだち　求職一件一回　其他一回

女給數名入用

求貸間

貸住宅

紅葉園住宅地

恩給立替

恩給立替

大大阪卸店案內　信用第一主義！　顧客本位！

ラヂオと電蓄器に　大卸商報

運動具製造卸　松葉屋商店

ゴム風船　廣告用品　流行玩具　水上商店

羅紗　綿布　竹中利助商店

鹿印ネクタイ　洋裝附屬品　稻村商店

鞄革具、雜貨製造卸　山田鞄工廠

マースランプ

大塚乾電池製造大卸

萬年筆製造直賣　信號堂製作所

ゴムバンド　村林ゴムバンド製造所

ベスト萬年インキ台　森敬商店

帽子品揃　田川一郎商店

囊地糸卸　西野糸鈕店

蓄音器　レコード　大卸店　大五商店

鐵兜　鐵兜　鐵兜　中佐總本店

ブルトーゼ

各帝國大學病院指定常備藥
全國五百有餘著名病院御採用

補血強壯

今！

結核治癒の好轉期

發熱あり胃腸障害等の場合食慾不振は食餌攝取不足から饑餓に蛋白の不足による體の消耗を來たし易し、體重を減じ此際ブルトーゼを服用して食慾を增進せしめ體重を昂めしめて一氣に增加し結核を征服すべきである

適應症　結核性疾患　消化不良に　食慾不振に　病後恢復期　貧血諸症

活動の源泉（小冊子）申越次第無代進呈

株式會社 藤澤友吉商店 大阪道修町二

B—19

日本軍出動の報に 各地の匪賊一齊に蜂起
殺人放火掠奪暴行の限りをつくし 奥地一帶混亂の巷と化す

【局子街五日發電通】日本軍出動の報傳はるや各地の匪賊は四日一齊に蜂起し奥地一帶に於て殺人放火、掠奪、暴行の限りを盡してゐる即ち于德林軍千三百は百草溝、八道溝に、大刀會匪八百は三道溝一帶に、聯合馬賊團三百は和龍縣各地に、吉林軍敗殘兵八百はヘリヘレー附近一帶に、共産黨は延吉、和龍兩縣各地に又延吉警備軍は日本軍を恐れるの餘り兵變を起し何れも暴行の限りを盡し今や奥地は名狀し難い混亂の巷と化してゐる

多門○團主力の方正入城期迫る
四日から猛烈に攻撃

【ハルビン五日發電通】多門○團主力は敵の本據方正縣城に段々肉迫し昨日來之を攻撃中である、敵は天險に依り頑强に抵抗しつゝあるも我軍の方正入城は刻々迫つてゐる

我飛行機 敵彈をうく

【ハルビン五日發電通】多門○團は兵匪の徹底的討伐を期すべく長驅して東鐵東部線北方地區○○方面に前進する模樣である又飛行○隊の○○機は多數の敵彈を受け四日來の激戰の跡を示してゐるがこの方面の匪軍の士氣は旺盛である

四日午後 方正に入城

【ハルビン五日發電通】多門○團の先頭部隊は四日午後一時三十分方正に入城せり又四日午後一時及び松野兵隊は三百の敵の襲撃を受け負傷下以下十名の死傷を出した

負傷者を空輸

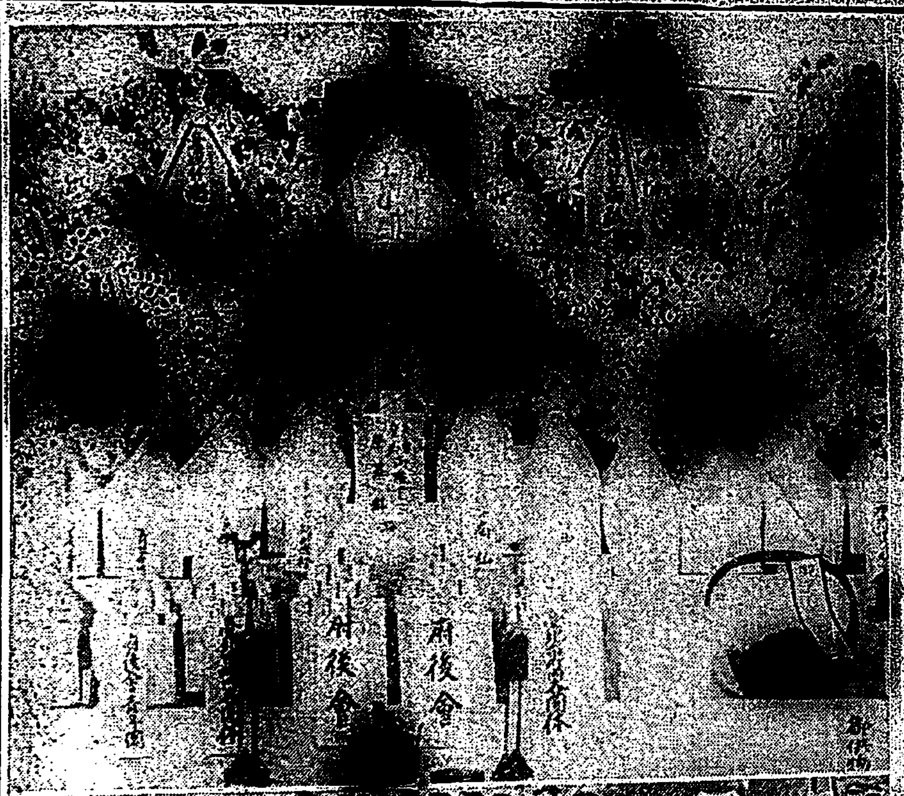
【ハルビン五日發電通】四日來の激戰に於ける多門○團の負傷者十一名は多田機第二號と旅客機で五日午前十一時二十五分同地から當地に空輸され野戰病院に收容された

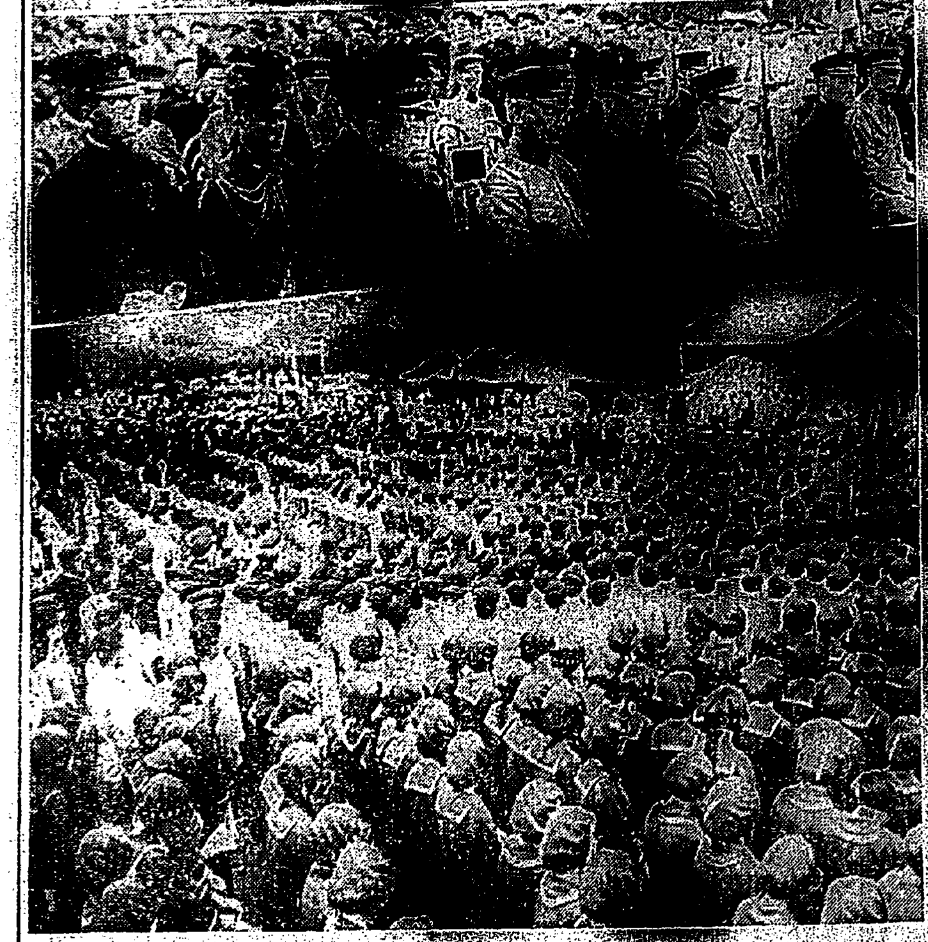
馬占海の部下 潰走

【ハルビン五日發電通】方正方面の馬占海部下約二千名は我軍の猛撃に依り死體三百を遺棄して東北方に潰走した我飛行機○○は之を追撃中で殆ど壞滅した

邦人警官二名 出動の途中惨殺さる
護衛吉林軍と匪賊の爲

【長春五日發電通】吉林總領事館の邦人巡査二名は共産黨匪逮捕のため吉林兵に護衛され吉海線盤石に赴いたが、匪返り吉林兵百名と匪賊のため惨殺された





皇太后陛下 御參內

【東京五日發電通】皇太后陛下には五日午前十一時三十分御參內、天皇皇后兩陛下と午餐を共にせられ、久方振りに御歡談、午後は秩父、照宮さまを中心に御過ごしあり、二時三十分御所に還啓あらせられた

照宮さまの新御殿へ
兩陛下行幸啓

【東京五日發電通】天皇、皇后兩陛下には五日午後三時宮城御本丸に御造營完成した照宮樣の新御殿吳竹寮に行幸啓あらせられた、尚照宮樣は六日午後二時四十八分迎子より御歸京、直ちに吳竹寮に入らせられ八日學習院に御入學遊ばさる

警官惨殺は 共産黨の仕業
護衛の吉林軍は 金を貰つて傍觀

【新京五日發電通】吉海線盤石で慘殺された吉林領事館警察官は有木、本田の兩氏と判明した、兩氏は吉林兵三十名と鮮人三名と共産系鮮人逮捕のため昨朝以來盤石で捜査中であつたが早くも之を知つた共産黨員は護衛兵を買收して小銃をもつて有木巡査外鮮人二名を銃殺し更に本田巡査を拉致銃殺したものである、この間護衛吉林軍は金を貰つて拱手傍觀してゐるのみで兩巡査は悲壯な最期を遂げた

學良相變らず 擾亂を畫策
共産黨もけしかけて

【錦州五日發電通】張學良は依然滿洲國擾亂を企圖しつゝあり昨日消息通の談によると寨門と張を同時に乘せ九門より關外に密送し、義勇軍に之を與へて擾亂の擴大を命令したと

故兒玉總督の 遺品を寄贈
愛國婦人會本部へ

今般兒玉伯爵家から愛國婦人會本部に對し故總督兒玉源太郎將軍着用の軍服、將軍帶用の勳章及び軍帽、茶碗其他の遺品を寄贈して來た、同會では近く寄贈品到着の上それを將軍の武勳たる南菜園に收藏して一般にも公開する由

戰死者慰靈の爲 一千卷のお經を書く
うら若い一女性

其の人である、當の登喜子さんは跡見高女出身の才媛で卒業後は家庭に家事を見習つて居るが今回の滿洲事變に上海事變の戰死者に痛く同情し、何んとかして女性の身でこれ等の霊を慰める方法はないかと考へた末、本郷の大圓寺で戰死者供養の觀音像建立されるを聞き一千卷のお經を書き上げて觀音像の胎內に納め以つて永遠に死者の冥福を祈る可く昨年十月より經若心經の寫經を始めたが半年振りでやつと出來上つた、右經文は戰死者一名につき一卷づつを書いたもので其の長さ實に千十三尺約二十八丁に及ぶものである（寫眞は經文の完成を急ぐ登喜子さん）

世の濁流に流れる折柄滿洲事變に上海事變に遭ひ戰死者となつた將兵及家族等に一千卷の般若經を書き上げて其の霊を慰め樣として居る感心なうら若い女性がある、それは東京本郷三丁目の岡野留吉氏令嬢登喜子さん（二三）

合祀資格者 七百七十四名
建功神社合祀資格 審查委員會で議決

建功神社合祀資格審查委員會は五日午前九時五十分より總督府會議室に於て開催され同十一時五十分終了したが出席者は平塚會長、安武副會長、倉岡、友部、山口、鈴木、小林、河村、三好、坂本、松岡、富地の各委員、江原、下條兩幹事で審議の結果合祀資格ありと議決されたもの七百七十四名でその內譯は軍人七百五名（主として霧社事件の戰死者並に臺灣蕃地で殉職したもの）の外官吏、教員、警官、民間殉難者、職人（霧社事件の際職方殉難として働き死亡せるもの）などである

◇

【ハルビン五日發電通】國民黨中國共産黨は張學良の指令に依り破壞分子を全市に配置して全市を暗黑化し、不穩の行動に出る計畫を進めつゝあり、又治安攪亂の目的で鮮人中國共産黨員に鐵道現業員のストライキ、經濟ボイコットを計畫し、反吉林軍に投ずるものが增加してゐる

Z伯號故障で 引き返す

【フリードリッヒスハーフェン四日發電通】本日午前五時三分ブラジル訪問の途に上つたツェッペリン伯號は出發より三十分後故障を發見し、出發地點上空に引返し、午後六時半着陸、格納庫にて點檢の結果船體下部の外部包裝ゾックに各直徑三米乃至五米の三箇の穴が明いて居り、プロペラ一箇が破損してゐる事を發見した、之は上昇の際飛行場內にある無電局のアンテナに接觸し船體に故障を生ずるに至つたもので、破損箇所を修理し約三時間後には出發する筈であると

修理を終り Z伯號出發

【フリードリッヒスハーフェン五日發電通】修理を終つたツェ伯號は本日午前六時三十分南米ペルナンブコに訪問飛行の途に就いた

日活の溝口監督 辭表を提出
また動搖の恐れ

【東京五日發本社特電】一時動搖を見た日活では漸く現狀維持で落ついたが四日突如同社監督で十三年勤續の最古參者の溝口健二氏が辭表を提出した、氏は個人的關係とのみで多くを語らないが同社には同氏の直系も相當あり會社幹部は動搖を恐れ辭意につき協議中

髮の爲め良き 日本香油 香しい 大阪 石津製

殖産局計畫の 移民見合せ
官有地處分に關する 根本方針樹立まで

殖産局では臺中州北斗郡沙山庄の一千甲の土地に內地移民を六年度中に實行し、將來に於て百三十戶を入れるべく計畫中であつたことは既報の如くであるが、その後內務局では官有地の處分方法に關する根本方針を樹立するまで官有地への移民を見合はせたいといふ

細雨しめやかに… 嚴かな勇士の葬儀
名譽の戰死者山下伍長を 總督軍司令官が弔ふ

臺北が生んだ上海事變の名譽の戰死者故陸軍步兵伍長山下秀夫君の葬儀は五日午後三時より新公園に於て執行せられたが、折柄降り始めた細雨は春色を潤ほせて櫻花の如く散つた大和武士の死を弔ふかのやうだ、西に面して設けられた祭壇中央には畏くも天皇皇后兩陛下より

御下賜 になつた祭粢料

が祭られて、祭壇の嚴さを釀し奉る、今は亡き山下伍長の在りし日の雄姿たる遺影は生花の花環の中に取まかれてゐるのも悲しい。生花、花環は總督府の祭粢には總督軍司令官始め各方面から贈られた花環、供物等が堆積は嚴密されてゐる、その中に鄉里の石川縣知事、金澤市長より贈られた花環供物も見える、定刻前善夫君の母校臺北一中生徒が

武裝で

整列すれば市內各大學校、中等學校、小公學校、學生生徒が所定の位置に就き、赤十字社、愛國婦人會、軍部各分會、各町會、青年團、青年訓練所などの各團體も整列する葬列を弔ふ市民の群集は山を衝いて續々參集して人垣を作る、軈て式は從兄に抱かれて靈柩は祭壇に安置せられた、喪主には池田秘書官を、阿部軍司令官は宮內副官を隨へて各々來場著席す、平塚長官、外山軍參謀司令官の方々官民有力者がズラリと

居並ん

で著席してゐる、臺北各宗派の僧侶讀經の聲が靜かに流れ出す、葬儀始め各宗派代表僧の焼香が濟み、平塚長官、外山軍參謀司令官、中村州知事、西澤市尹、鈴木宗家各長、坂內在郷軍人聯合分會長、谷口町總代など各方面の代表が靈前に進み焼香を捧へる、宮內大臣使の弔詞を傳へる、厳かな雨空に南總督、阿部軍司令官、平塚長官、外山軍參謀司令官と相次

燒香を

終へ、其他參列者の燒香がなされ、江頭師の讀經に花と散つた武人の靈に合掌し午後四時半式を閉ぢた

（寫眞上は祭壇、中は會葬者前列左から南總督、阿部軍司令官、下は會葬の大群衆）

市內配水鐵管の 水掃作業
五日から七日まで 夜十時から朝四時の間

臺北市水道課では草山からの新水道の完成に伴ひ五日から七日まで毎夜十時から翌日午前四時まで市內配水鐵管の水掃作業を行ふこととなつた、これについて市の武部水道課長は

新しい鐵管に銹がついてゐるので先づ一般家庭で全々使用しない時間即ち夜の十時から夜明けの四時まで水掃作業を實施します、この結果水道の水が多少濁したり門柱其他の高い所へは水勢不足で故障が出るかも知れませんが一兩日の間市民の御辛抱を願ひたう存じます、水掃作業が終るととてもきれいなうまい水が配給されます

と語つてゐる、同時に市では告示を以て此旨を發表した

臺北州下の獻金 豫定額の四倍
八萬四千圓に達す

臺北州下の兵器獻金は大體三月十日を以て一應締切つたが其後も續々申込みあり、四月一日現在州廳で取纏めた總額は八萬四千五百四十四圓十二錢に達し當初豫定額の二萬一千二百六十六圓三十五錢に比すれば正に四倍の巨額に達し殊に石は臺都を中心とするだけに獻金額が全島一であるこれが內譯を示せば官吏側二千三百圓、一般七萬九千圓

其の他官口は枚擧に遑ない程で千圓、中等學校生徒の九百圓、小公學校生徒の二千二百圓などであるが臺北における民間寄附者の大口では川本澤市氏の一萬圓を筆頭に石黑又三、天滿千木外義協會の各三千圓、十五屋草刈治氏外十名の一千圓等、基隆では平田商物店が一千圓をポンと投げ出してゐる

移民問題に對し臺灣總督府に於ては移民の可否を研究中であるが、之を臺北若しくは臺中に移すかそれとも右の兩方を併せ實行するかによつて臺灣部に於ける移民計畫を進行する方針である。殖産局としては本件移民の可否について根本問題に關する意見を持して居り、本年度の移民實行は見合せといふ有樣になつた

女子職業學校 入學者

私立臺北女子職業學校の入學者合格者は左の通り（受驗番號順）

吉岡靜江、谷本三枝、大田なみ、田中ヨシ、山崎フク子、芝崎シヅ、平山ミツヨ、國田ヒデ子、井坂登美子、長澤トミ、中島文子、東貴ハル、山田カツ、野田昌子、倉本露子、堀川ハナエ、羽田イキ、石原靜江、伊藤カナ子、大谷三枝子、光本ふさ、八木方子、土井田幸子、春田代子、ノブ子、阪井鈴子、古賀マツ、吉川清子、加藤吉子、佐々木淳子、大野ヒサ子、閏子、口美代子、小山千代子、中村淑子、下田ツヤ子、福田シヅ子、洲崎文子、江藤高子、赤松キミ子、今川小枝子、木下春子、及川靜子、陽口靜子、橋本ミツ、佐藤ヨシ子

追徵金に關する 解釋

【東京四日發電通】朝鮮の滿洲事件中朝鮮軍司令官川崎少將から五萬圓の賄賂を收受した官吏に對する追徵金の支出は四日の判決において追徵金の必要はない事になつた、これは一審は取締金中から除外したのは收受後に寄付した金品は沒收する事になつてゐるので

一、一審判決通り國庫に歸屬したもので四日の判決は收受した金品を沒收するといふ意味で當局に解釋したものである

臺灣產業博の 開催計畫
或は沙汰止みか

社團法人臺灣商工聯合會では臺灣に於て臺灣產業博覽會を開催すべくその援助方を總督府に照會して來た、その要旨は本島及內地產業の振興發達に資する目的を以て總督府十萬圓の補助にて臺北新公園に會期四十日間の臺灣產業博覽會を開催したいといふのである、總督府としては財政緊縮の折柄でもあり且つ博覽會の具體的計畫及內容も不明であるので折返し詳細を求むると同時に同會の博覽會開催の申込みをして調查を行はしめることとなつたが目下の情勢では右博覽會の開催は沙汰止みとなるものと見られてゐる

基隆記念展 五日も盛況

基隆市史展覽會第五日は午後も引續き大入りで冠婚後の入り具合を續けてゐた係員はその大部分を選らし合つてゐるが満洲事變に於ける本島中心の物價とその記錄文は赤木製藍社長の苦心のもので見物人中の興味を誘ひ専門家さへ斯る資料を蒐集したもの等の重要な出品も多々ある。

凱旋の二將軍 謝意を言上
伏見部長宮に

【東京五日發電通】凱旋した植田中將、下元少將は五日午前十時伏見軍令部長宮殿下に軍令部で拜謁、上海事變に於ける海軍の協力に對し謝意を言上した

監督者として 責任を痛感
武田郡守語る

【屏東電話】過つて今田大尉を殺傷せしめた屏東郡警察課長ら監督者に於ける責任について武田郡守は語る

さる不測の出來事とは云へ國家の有爲な武人を失つたことや、その家族の方々を思ふ時監督者としての責任を痛感してゐる、監督者である自分としても責任を感じて心中謹しんでゐる

長老教會の 記念祝賀式

去る三月九日は北部長老教會の設立六十周年並に私立淡水中學校の設立五十周年に相當するので特に加奈陀長老教會全國會議長を迎へ四月六日（水曜日）の午後一時より私立淡水中學講堂に於て記念祝賀式及び評議員式並に總會開催す

岩井少年の 木琴演奏會
基隆でも開催

岩井少年の木琴演奏會は臺北で非常な好評を博したが更に基隆でも基隆市民の爲に開催すべく五日午後七時から公會堂で開會することとなり、基隆後援會の外に一般の後援を得て盛大な演奏會を開くことに決定し、當日は多數の來聽者を見込んでゐる

御成町へ ビーゴルフの十錢デー

臺北市の中央部を行つて昨年東市內御成町に新設された宮崎商會のベビーゴルフ場は一般の人氣を集めたコースの改善により一時は營業中止の姿となつてゐたが最近今村氏が經營を引受け同所を十錢デーとして一ゲーム十錢に値下げしたので又も昔の盛況を呈するに至つた、因みに十錢デーは四月四日から十日まで、その後も十九日以降は三錢程度に割引して一般に開放する事になつてゐる

新婚消息

▲故岡田兵三郎氏長男照彥君と三日結婚式を擧げた
▲張清港氏次男清寶君と四女阿菊君と三日臺灣神社にて結婚式を擧げた
▲本社員福原氏令嬢と三日臺灣神社に於て挙式した
▲代子嬢と淡水郵便局に於て擧式し同夜江山樓で披露宴を張つた

組織的英語教授
初等科（ABCヨリ）中等科、受驗科
實力本位 學費低廉（規則書送ス）四月八日より授業開始
臺北市府町二丁目十五番地（永樂座南）
臺灣タイピスト養成所英語部

臺灣日日新報

新漢和大字典

最新刊

今！辭書選定に迷ひ給ふな。

一千萬言の宣傳も一つの事實に及ばす

既に全國千二百餘校の指定字典たり。以て本書の眞價を知られよ！

文學博士 宇野哲人編

四六判 レザー裝極上製

堂々千九百頁の大巻

檢字、草字便覧、常用漢字便覧、音訓索引附

¥2.50 送料廿二錢

これこそ我が社の誇り

低廉 最新 明快 絶對に他の追隨を許さざる

見よい 引きよい 解りよい 新漢和

一番安い、一番新しい、一番鮮明な、即ち父兄の負擔最も輕く生徒の勞苦最も少い

昭和の時代に最適の新漢和大字典はこれ

これだけは必ず忘れずに備へ給へよ。執務、學習の座右に—

內容見本 御申込次第 進呈いたします

東京市神田區神保町 振替東京一三五五

三省堂

大阪市西區阿波座下通 振替大阪八一三〇〇

全國書店にて實物に就き見られよ！

◆品切の節は直接弊社へ

動物の驚異

全動物界の秘密は開かれた

寫眞を中心に樂に讀まれて誰にも分かる在來の型を破つた動物書!! 讀んで面白く見ても興味ある此獨特の編輯振りを見よ！前景氣甚大！

科學畫報叢書 第七篇

其形態から其習性、動物の世界程千姿萬態吾人の興味を唆るものはない。本書は弊社が絶大の努力と多年の日子を費し蒐集した無慮二百の動物生態寫眞を中心に、全動物界の驚異的事實と其隱れたる秘密を闡明せんとするもので、執筆者は何れも動物界の權威者、而かも記述は平易で、何人が讀んでも面白く又一々の寫眞は弊社獨特の印刷方法により鮮明無比を極め、親しくそれぞれの動物を眼前に見るが如く、かくまでに興味多く説いた動物書は、本書の外には絶對にない事を確信する。敢へて大方の必讀を薦む。

目次概要

▽人間に似た類人猿 ▽家畜の種々相 ▽獅子と虎の生活 ▽豹の生活 ▽ジャガーとピューマ ▽象 ▽インド犀 ▽格好なカバ ▽ノロとカモシカ ▽巨大な河馬 ▽海の大獸 ▽海豹と膃肭獸 ▽鯨の大きさ ▽鳥の卵と育雛 ▽鳥の巣 ▽陸上の奇習 ▽海鳥の「渡り」 ▽家鴨の種々 ▽鶏のいろいろ ▽サギとフクロウ ▽珍らしい鳥 ▽蜥蜴とヤモリ ▽蛙のいろいろ ▽蛇の食物 ▽カジカ蛙の育兒 ▽山椒魚 ▽川の魚の奇習 ▽海にゐる魚 ▽卵の色 ▽魚の彩色 ▽日本海と西洋の魚 ▽深海のサバ ▽發光するイカ ▽岩なぞの魚 ▽フグの奇習 ▽海川の魚 ▽コイとマンボウ ▽蝦の食べ物 ▽タツノオトシゴ ▽鮎と琵琶湖の小鮎 ▽櫻鯛と鯉 ▽魚類の卵と胎生 ▽魚の幼魚 ▽銀鱗と奇魚 ▽金魚

執筆者

東京帝國大學教授 農學博士 雨宮育作 / 東京科學博物館動物學部長 理學博士 石川千代松 / 東京帝國大學名譽教授 理學博士 犬飼哲夫 / 北海道帝國大學教授 理學博士 內田惠太郎 / 朝鮮總督府水產試驗場技師 理學博士 內田清之助 / 農林省技師 農學博士 岡田彌一郎 / 東京文理科大學教授 理學博士 大島正滿 / 東京高等學校教授 理學博士 太田康治 / 農林省技師水產 理學博士 黒田長禮 / 農林省畜產試驗場技師 農學博士 芝田清吾 / 公爵 鷹司信輔 / 東京帝國大學教授 理學博士 田中茂穂 / 水產講習所長 日暮忠 / 京都帝國大學理學部動物學教室 牧茂市郎 / 東京帝大農學部教室 理學士 渡部美三郎 / 京城帝國大學教授 [illegible]

造裁と定價

▼體裁 四六倍大判、一册二百七十頁、九ポイント總ルビ附、全頁アートペーパー印刷

▼寫眞 各頁に一個以上の寫眞を挿入し、全卷無慮三百餘個何れも鮮明正確頗る壯觀

▼定價 一册金一圓五十錢 送料一册二十一錢

內容見本 ハガキで申込み次第進呈

大好評の科學畫報叢書

第一篇	科學文明の驚異	二十五版發行	最新の機械文化の一切を寫眞を中心に興味多く解説す
第二篇	山岳の驚異	二十版發行	山の成因、山の形容最近の山岳科學の一切を解説す
第三篇	海の驚異	二十版發行	海洋の神秘から海の生物海流海底海溝の一切を詳説す
第四篇	昆虫の驚異	十八版發行	昆虫生活の興味ある神秘を寫眞を中心に興味多く解説
第五篇	顯微鏡下の驚異	十五版發行	肉眼に見えない世界の神秘を獨特の寫眞を中心に解説
第六篇	電氣の驚異	十八版發行	電氣の基礎知識から最近の電氣文化の一切を解説す

各册定價金一圓五十錢送料內地十一錢外地三十二錢

東京市神田區錦町一ノ一〇 振替東京四三二四〇番

新光社 電話神田四三三九番

本舗・東京 篠崎インキ製造株式會社

最高特賣 最速度 どりこの

三都の優秀品を網羅せる

全島一ノ

タイニチ運動用品部

臺北 電話四八三番 振替臺北一〇番

臺中支店・臺南支店

ヤセタ人すぐ試よ

ふとる藥

[illegible]

[illegible]

第二十四回營業報告(自昭和六年九月一日 至昭和七年二月末日)

[illegible]

桃園軌道株式會社

友人總代 [illegible]

親族總代 [illegible]

御會葬御禮

山下作兵衛 後府 [illegible]

發賣元 臺北 信生堂藥房

代理店 東京 大木合名會社

大阪 同支店

▼各藥店ニ販賣ス

廣告は宣傳の近道なり

[illegible]

支那事變

負傷戰士を勞りませう！

☆廢物利用で愛國運動☆

滿洲や上海で御國の爲め名譽の負傷を受けた戰士を心から勞りませう

—方法—

森永ミルクキヤラメル(大十錢・小五錢)の外函

森永ミルクチヨコレート(大十錢・小五錢)の外裝紙

を最寄りの本會投入函にお入れ下さい

★

集つた外函・外裝紙は大一厘・小一厘の割合で森永が買受け、その美しいお金は全部負傷戰士に捧げるため陸海軍省に獻納します

投入函は全國の加盟新聞社や菓子店其他便宜の處にあります

★

森永ミルクキヤラメル・ミルクチヨコレート大小一ヶ月生產高壹千五百萬個 全部回收されるとその獻納金貳萬貳千五百圓！

主催 [illegible]負傷軍人後援會

後援 全國加盟新聞社 森永製菓株式會社